

高知市男女共同参画推進プラン 2021

令和5年度

個別事業実施状況報告

(点検シート)





基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)					
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展6回(高知市男女共同参画の日、女性に対する暴力をなくす運動、国際女性デーなど)</li> <li>・高知市総合防災訓練でのブース出展</li> <li>・出前講座等19回(地域、学校、市職員など延べ1,444名参加)</li> <li>・プライド月間キャンペーン2023(レインボーフラッグ掲揚、高知城レインボーライトアップ、大橋通アーケードへのフラフ、フラッグの掲出、にじいろBOOKs)の実施</li> <li>・市広報「あかるいまち」のコラム「くらしの中のSDGs」に記事掲載(4月:SDGsのめざす未来、7月:部落差別の解消に向けて、12月:世界人権宣言と私たちの暮らし、3月:ジェンダー平等のためにできること～自分らしく生きる～)</li> </ul>	<p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座は、前年度と同程度の依頼数であった。</li> <li>・プライド月間キャンペーンは6月のプライド月間に合わせた初めての取組として、集中的に展開することができた。</li> <li>・パネル展を行う際には、市広報や課Instagram、庁内デジタルサイネージ等で情報発信を行い、広い広報に努めた。</li> <li>・高知市総合防災訓練でのブース出展を通じ庁外での啓発を強化することができた。</li> <li>・紙面リニューアルした市広報コラムでSDGsの視点を踏まえた広報啓発ができた。</li> </ul>	<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課Instagramを中心にSNSやパネル展示等、引き続き様々な手段による啓発を行い、ターゲットを意識した効果的な啓発が行えるよう努める。</li> </ul>						
		<p><b>◆活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー平等、多様な性に関するパネル展を年4回以上開催する。</li> <li>・要請に応じて出前講座講師を派遣する。</li> </ul> <p><b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。									
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。									
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。									
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。									

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																	
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内向け掲示板でパネル展やソレの講座等に関する情報発信を行った。</li> <li>・男女共同参画推進本部部局推進員会(推進員をR4:7名から14名に増員)は、「防災分野におけるジェンダー平等」をテーマに活動し、啓発物を作成した(全5回の活動)。</li> <li>・庁内各窓口へのALLYミニフラッグの設置を継続し、ALLYの見える化を継続した。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>◆検証《達成状況, その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動報告を男女共同参画推進本部本部会, 幹事会の他に, 掲示板にも掲載することで, 庁内全体に男女共同参画の意識の浸透を図った。</li> <li>・活動した部局推進員から, 防災分野におけるジェンダー平等の視点について気づくことができたとの声があり, 庁内におけるジェンダー平等の理解促進に寄与できている。</li> </ul>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		<p><b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き, 庁内向け掲示板での情報発信と, 男女共同参画推進本部部局推進員会の活動(テーマ:アンコンシャス・バイアスに気づくことから進めようジェンダー平等)を行う。</li> </ul>						
		自課評価	R3		A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																
R4	A																					
R5	A																					
R6																						
R7																						
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>845</td> <td>125</td> <td>105</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>  <p>男女共同参画推進本部部局推進員会の活動</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		845	125	105			<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																	
	845	125	105																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																					
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。																					
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																					
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																					

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)			
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	ア	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・R6.3.31時点登録件数 22件 (うちR5年度件数 6件)</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・高知市パートナーシップ登録制度の運用 ・申請書類等の性別記載欄の見直しの実施</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>生物学的な性別、性自認、性的指向に関わらず、個人として尊重され、その個性と能力を発揮する機会が確保される社会づくりを目指す。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>高知市パートナーシップ登録制度の適切な運用</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>・申請時のプライバシーへの配慮, 手続きに関する問い合わせへの対応等, 適切に実施できた。 ・県内市町村等のパートナーシップ制度導入検討時の問い合わせや視察に対応した。</p> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>・パートナーシップ登録制度についての周知を図るとともに, 引き続き適切な運用について務める。</p> <p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>				
		1	4				多様な性のあり方を尊重する取組の推進			
		自課評価	R3				A	<p>評価基準</p> <p>A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>		
		R4	A							
		R5	A							
		R6								
		R7								
		決算額(千円)	R3				R4	R5	R6	R7
			0				0	0		
		担当課	人権同和・男女共同参画課							
写真等										

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p>No. 事業名</p>	<p>R3 A R4 A R5 A R6 R7</p>	<p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>学校からの申請は益々増加しており, 児童・生徒の感想文からも肯定的評価を得ている。一度実施して終わりではなく, 継続した児童・生徒・保護者への教育・啓発が必要であり, 今後も学びの機会の提供が望まれている。実際, 小学校で講演を聞いた子どもが, 中学校でも話を聞いたことで, 学びが深まり, 聞く態度のみならず, 積極的に質問や感想を述べる様子が見られ, 事業の効果が実感できた。</p> <p>本事業は初年度(R2)の申請が12校, 2年目(R3)は15校, 3年目(R4)が25校と, 年を追うごとに申請する学校が増加している。また, リポートでの申請も増加傾向にある。</p> <p>これらの状況を踏まえ, より多くの児童生徒, 保護者への啓発を進めるため, 予算措置の要望を行い, 令和6年度はさらに実施校を増やす予定。</p> <p>県内において自身の経験に基づき, 啓発や講演活動に携わる方はまだまだ少数である。今後も引き続き県内在住の性的指向・性自認に関わる団体の方との連携も行き, より多くの児童生徒, 保護者への学びや啓発につなげたい。</p>
		<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>今年度は, 6日間で12校の小中学校に対し, 暁プロジェクト 大久保暁さんを講師として派遣し, 性の多様性についてご自身の経験をもとに講話を行った。実施日を増やしたことで, 参加者は小学生・中学生・教職員を合わせ, のべ2,548名となった。</p>	<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>性的指向・性自認について学ぶことのできる講師についての相談や, 中学校進学に向けての制服の問題で悩む児童に対する各学校等からの相談も増えてきている。</p> <p>令和5年度は, 実施予定12校に対し, 34校から応募があった。</p> <p>講師の生い立ちや経験からなる話や, 基本的な知識を, 児童生徒に分かりやすくお話しいただいたり, 学校のニーズに合わせて話の内容を調整するなど, 柔軟にご対応いただける講師のお人柄も重なり, 需要が増えてきていると思われる。</p>		
<p>◆事業(概要)</p> <p>外部講師を派遣し, 教職員・保護者・児童生徒が「性の多様性」について学ぶ場を提供する。</p> <p>トランスジェンダーの方から直接話を聞くことで, その人の生き様から「ありのままに生きることの素晴らしさ」を心で感じるとともに, 自分自身を含む「性の多様性」について学ぶ。</p>	<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>性的指向・性自認について学ぶことのできる講師についての相談や, 中学校進学に向けての制服の問題で悩む児童に対する各学校等からの相談も増えてきている。</p> <p>令和5年度は, 実施予定12校に対し, 34校から応募があった。</p> <p>講師の生い立ちや経験からなる話や, 基本的な知識を, 児童生徒に分かりやすくお話しいただいたり, 学校のニーズに合わせて話の内容を調整するなど, 柔軟にご対応いただける講師のお人柄も重なり, 需要が増えてきていると思われる。</p>				
<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>「多様な性のあり方」について学ぶことで, 性別にとらわれることなく, 自分らしさや一人一人の個性を尊重することの大切さを認識し, 理解を深める。</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>				
<p>◆活動指標(目標)</p> <p>市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)のうち, 12校への派遣を目標とする。(昨年度から4校増)令和5年度は, 高知県出身で京都在住のトランスジェンダー大久保暁さんを招聘の予定。</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>				
<p>◆活動指標(目標)</p> <p>市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)のうち, 12校への派遣を目標とする。(昨年度から4校増)令和5年度は, 高知県出身で京都在住のトランスジェンダー大久保暁さんを招聘の予定。</p>	<p>【課題等】</p>				
<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>◆活動指標(目標)</p> <p>市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)のうち, 12校への派遣を目標とする。(昨年度から4校増)令和5年度は, 高知県出身で京都在住のトランスジェンダー大久保暁さんを招聘の予定。</p>				

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)								
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p><b>事業名</b></p> <p>No. 6 学校における男女平等教育の推進</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>例年、年間2回実施する人権教育主任研修会の年度当初の会にて、高知市の13の人権課題について児童生徒の発達段階に合わせ学習計画を立て、年度末には各学校で実践された内容を取りまとめた実践概要報告を作成し交流を行うことを提案している。</p> <p>令和5年度に実施された、校内研修や年次研修等での研修等において、人権教育は特別なことをするのではなく、すべての教育活動の中で行われるものであることや、家庭科での「家族の役割」などの機会に、男女平等の視点に留意し学習するなど、指導者の少しの配慮により、様々な形で啓発が行われることを積極的に伝えていくようにした。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>本事業は、日々の授業に対し、人権課題の視点との関連を考慮し、授業を構成し、児童生徒への支援・指導を行うことを目的とするものである。</p> <p>学校で行われる授業は、文部科学省の定めた学習指導要領を基準として、各学校で編成された教育課程のもと、各教科、道徳、総合的な学習、特別活動など標準授業時数に照らして教科横断型で進められている。</p> <p>特に中学校では、家庭科や社会科の授業で「男女共同参画社会基本法」にふれ、家庭を支える社会の仕組みについて学習している。</p> <p>今後も、これまで同様、年次研や校内研修等、様々な教職員研修の場において、高知市の13の人権課題の一つとして「女性」の視点に触れ、教職員への啓発を進めていく。</p>									
		<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>学校における男女平等に関する学習や男女共同参画についての学習を推進するため、人権教育に関する情報提供や各学校への指導・支援を行う。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>次代を担う子どもたちが、成長していく過程において個性と能力を発揮できるよう、男女共同参画について学び理解する機会を提供するとともに、指導・支援していく。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>市立小・中・義務教育学校(59校)において、男女平等や男女平等参画を実現するための人権学習が計画的に実践され、令和5年度末の実践概要報告集において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合が100%であった。</p>	<p>◆<b>検証</b></p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>A</td><td rowspan="7">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>A</td></tr> <tr><td>R5</td><td>A</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table>	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6	
R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)											
R4	A												
R5	A												
R6													
R7													
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)において、男女平等や男女共同参画を実現するための人権学習が計画・実践され、令和5年度末の人権教育実践概要において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合を100%とする。</p>	<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr><td>必要性</td><td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td></tr> <tr><td>工夫・配慮</td><td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td></tr> </table>		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p>	
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。												
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。												
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。												
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。												
<p>◆<b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>◆<b>決算額(千円)</b></p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◆<b>担当課</b></p> <p>人権・こども支援課</p>	R3	R4	R5	R6	R7	0	0	0			<p>◆<b>課題等</b></p>	
R3	R4	R5	R6	R7									
0	0	0											
<p>◆<b>写真等</b></p> 													

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																	
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	No. 事業名 7 健康教育(性に関する指導)の推進	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>性に関する外部講師派遣事業による授業では、産婦人科医による講演を実施し、男女の体の仕組みや違いについて知るとともに、専門家から妊娠と出産について科学的に説明してもらうことで、命についての考えを深めることができた。</p> <p>児童養護施設等に入所している児童や複雑な家庭環境の児童生徒がいるため、事前に講師等との打合せの際に伝える等した。</p> <p>助産師や産婦人科医師による専門的な立場から、スライドや動画を工夫して、児童生徒にわかりやすく命の大切さを具体的に学習できた。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>◆検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>講演を聴き、性に関しての悩みや疑問に対して、話や相談する場所を知ること、命を大切に、また他人も大事にすることを改めて考える機会となった。</p> <p>また、命の歴史を振り返りながら、赤ちゃんの成長、自分たちの成長を実感させることができた。</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		<p><b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>・体育科・保健体育科における「性に関する指導」は、学校教育活動全体で実施されるものであるため、指導の進め方や他教科等との関わり合わせ方等、より良いものとなるよう支援していく。</p> <p>・体育科・保健体育科での指導をより深めるための方法として、外部講師を招いた指導や、胎児人形や沐浴人形などを用いた体験型学習の提案も引き続き行う。</p> <p>・養護教諭の研修会等で、性に関する指導の取組を啓発する。</p>					
		自課評価	R3	B		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																
R4	B																					
R5	B																					
R6																						
R7																						
<p><b>◆事業(概要)</b></p> <p>学校における「性に関する指導」について、体育科・保健体育科の他に生活科、理科、家庭科、道徳科等関連教科においても実施する他に、学校行事といった特別活動等、教育活動全体を通じて計画的に実施する。</p> <p>子供たちの心身の発育・発達や性に関する内容について理解させ、健康づくりの大切さを認識させる。また、危険を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善する能力を育てる。</p> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命や人格の尊重、男女平等や男女相互の理解と協力の重要性、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築いていける資質や能力を育てる。</li> <li>・性に関する科学的知識や自他の心身の健康のためにできることを学ぶことを通して、命や自他を尊重した行動選択・意思決定ができる態度を育成する。</li> </ul> <p><b>◆活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胎児人形やエプロンシアター等の教材を用いた体験型学習といった、命の大切さを具体的に学習できるように指導・支援する。</li> <li>・養護教諭の研修会等で性に関する指導の取組を啓発する。</li> </ul> <p><b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 学校教育課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	0	0	0			<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3		R4	R5	R6	R7																
	0	0	0																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																					
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																					
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																					
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)								
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p>No. 事業名</p>	<p>R3 C R4 B R5 A R6 R7</p>	<p>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</p>									
		<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち人づくり広域連合実施の研修へ対象となる職員を派遣し、人権に関する啓発及び意識改革を行った。</li> <li>・派遣研修は、各部局研修委員会から派遣研修の推薦を受け、選考を行った。</li> </ul>	<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権研修・・・階層別研修(一般研修128人, 新任係長71人), 人権・コンプライアンス研修(94人), 職場人権研修(3,222人)</li> <li>○ダイバーシティ推進研修(36人)</li> <li>○派遣研修・・・市町村アカデミー「管理職を目指すステップアップ講座」(1人), 国際文化アカデミー「女性リーダーのためのマネジメント研修」(1人), 日本経営協会「第36回地方自治体女性職員交流研究会」(1人)</li> </ul> <p>男女の人権に対する啓発等の研修を実施した。人権研修推進員研修を人権とコンプライアンス推進の2部構成として実施。例年と同様に受講率も高く, 職場人権研修の実施に真剣に取り組む所属長の姿勢が伺える。</p>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>研修を受講しやすい環境を整えていく。また, 各部局研修委員会とも協力しながら, 引き続き, 各種研修機関へ職員を派遣していく。</p>									
<p>◆事業(概要)</p> <p>こうち人づくり広域連合と連携し, 男女共同参画社会づくりに係る研修や人権研修を実施する。 また, 女性職員の能力開発や意識改革のため, 自治大学校や市町村アカデミーなど各種研修機関へ積極的に派遣する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の人権に対する啓発等, 人権に対する市職員の意識啓発・能力発揮促進のために研修を実施する。</li> <li>・階層別研修や管理職の研修等に男女共同参画社会づくり研修を実施, 全職員また意思決定権限のある管理職員の意識改革を促す。</li> </ul>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。</p> <p>有効 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>											
<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうち人づくり広域連合実施の階層別研修を受講することで, 各階層で男女の人権に関する啓発を継続する。</li> <li>・職員の意識改革のために, 2年目課長補佐級職員をダイバーシティ推進研修へ派遣する。</li> <li>・女性リーダー職員育成のため, 研修機関等へ計画的に派遣することで女性職員の能力開発の機会を継続する。</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加</p>	<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>100</td> <td>177</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人事課</p>	R3	R4	R5	R6	R7	48	100	177			<p>【課題等】</p>	
R3	R4	R5	R6	R7									
48	100	177											
<p>写真等</p>	<p>写真等</p>												

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)		
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	ア	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="168 363 235 478">No.</td> <td data-bbox="235 363 616 478">事業名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="168 478 235 1450">9</td> <td data-bbox="235 478 616 1450">                     広報・啓発及び情報提供   <b>◆事業(概要)</b>                      &lt;広報・啓発&gt;                      情報紙「ソレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信等                      &lt;情報提供&gt;                      男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供                      図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリッピング等   <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>                      社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。   <b>◆活動指標(目標)</b>                      ・情報紙 7,000部発行                      ・メールマガジン発信件数 延べ4,800件                      ・SNSによる情報発信                          Facebook リーチ数 10,000                          Twitter インプレッション数 200,000                      ・団体貸出先 10件   <b>(参考)関連する数値目標</b>                      男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加                 </td> </tr> </table>	No.	事業名	9	広報・啓発及び情報提供  <b>◆事業(概要)</b> <広報・啓発> 情報紙「ソレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信等 <情報提供> 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリッピング等  <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。  <b>◆活動指標(目標)</b> ・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ4,800件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 10,000 Twitter インプレッション数 200,000 ・団体貸出先 10件  <b>(参考)関連する数値目標</b> 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> <広報・啓発> ・ソレ・スコープ発行(年4回) 各7,000部 ・メールマガジン発信件数 延べ5,224人(登録者数445人) ・ホームページアクセス数 48,765 ・SNSによる情報発信 Facebookリーチ数 13,180 X(旧Twitter)インプレッション数 100,355 Instagramインプレッション数 2,155 ・人権フェスティバル(高知市)における啓発パネル展示及び情報紙等配布  <情報提供> ・図書、DVD蔵書数 11,383冊・本 ・利用登録者数 8,276人(うち新規78人) ・図書団体貸出 6件 353冊(市町村5件、大学1件) ・新聞クリッピング 更新24回  決算額 (千円) R3 R4 R5 R6 R7 5,859 5,464 5,947  担当課 ソーレ  写真等 (男性家事・介護基礎講座の様子をInstagramで紹介) 	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	A A B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)  <b>◆検証《達成状況, その要因》</b> 概ね目標は達成できているが、X(旧Twitter)インプレッション数が指標を下回った。SNSは若い世代の利用が多いとされるが、関心があるワードを検索し情報を得るといより、既にフォローをしているサイトのタイムラインをチェックしているという傾向があり、まずは当センターをフォローしてもらえよう、登録投稿の時間帯や興味を引いてもらいやすいよう、内容の工夫が必要。	<b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b> 情報紙やホームページ、SNSによる、より分かりやすくきめ細やかな情報発信に努めるとともに、啓発誌や動画等の多様な啓発ツールの作成及び活用に努める。
	No.	事業名											
9	広報・啓発及び情報提供  <b>◆事業(概要)</b> <広報・啓発> 情報紙「ソレ・スコープ」発行(年4回)、メールマガジン発行、SNSによる情報発信等 <情報提供> 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリッピング等  <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。  <b>◆活動指標(目標)</b> ・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ4,800件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 10,000 Twitter インプレッション数 200,000 ・団体貸出先 10件  <b>(参考)関連する数値目標</b> 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加												

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)												
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<p>No. 10 事業名 男女共同参画推進事業 (SOGIに関する講座)</p> <p>◆事業(概要) ・SOGIに関する講座 ジェンダーの多様性への理解を深め、性自認、性的指向の尊重につながるよう啓発に取り組む。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・SOGIに関する講座 参加者数 30名</p> <p>(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 講座名:性の多様性から「じぶん」について考える ～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いから見えてきたこと～</p> <p>開催日:9月2日(土) 講師:田中一歩・近藤孝子 (にじいろi-Ru) 参加者:28名</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>—</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況,その要因》 市民に向けたSOGI及びジェンダーへの理解について講座を行い、啓発に努めた。普通とは何かということに問いかけ、皆が違って当然で、このことで人を排除したり差別をされることはいけないと伝えることができた。参加者数は目標30名に対し28名とわずかに届かなかったが、アンケートの回答からもセクシャルマイリティの方の参加が多く、安心して自分のセクシャルリティを話してもらえ空間になったと考える。</p>	自課評価	R3	—	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		<p>◆対応《改善,今後どのようにするか》 引き続き、次年度もSOGIに関する講座を実施し、性の多様性から自分自身のことを考え、多様性を認め合うことの大切さを学んでもらう。</p> <p>実施時期:10月 定員:会場50名, オンライン30名 講師:田中史緒里(ジェンダー・フリー・オーダー・システム株式会社クーズ代表取締役) 講座名: SOGI講座「思うがままに服を着る,それはあなたが自由である証」</p>
		自課評価	R3	—		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)											
R4	B																
R5	B																
R6																	
R7																	
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>127</td> <td>147</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(講座チラシ)</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		—	127	147							
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7												
	—	127	147														

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)			
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・庁内において審議会等への女性委員の登用について理解を求めため、男女共同参画推進本部本部会、幹事会において、女性委員の登用及び取組状況を報告した。</p> <p>・庁内掲示板で女性委員の登用を呼びかけた。</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>市が所管する各種審議会の女性委員比率の向上及び女性委員がない審議会等の数を減少させるため、庁内関係課へ調査、働きかけ等を継続的に行う。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>政策・方針決定過程への男女平等の促進により、多様な市民の意見を反映させることができる。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>庁内関係課へ調査を行うとともに、女性委員登用の働きかけを行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>市の審議会等で女性がない審議会数:0会</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>・女性委員を含まない審議会 15会(前年度13会)</p> <p>・女性委員比率 30.8%(前年度30.7%)</p> <p>・前年度からほぼ横ばいであった。</p> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>・引き続き庁内への働きかけを継続するとともに、より効果的な手段を検討していく。</p> <p>・庁内関係課へヒアリング等を行い、女性委員を登用できない要因等を分析する。</p> <p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>				
		11	審議会等の女性登用の推進							
		自課評価	R3				B	<p>評価基準</p> <p>A:目標達成(100%以上)</p> <p>B:概ね達成(80~100%未満)</p> <p>C:少し下回った(60~80%未満)</p> <p>D:大きく下回った(60%未満)</p>		
		R4	B							
		R5	B							
		R6								
		R7								
		決算額(千円)	R3				R4	R5	R6	R7
			0				0	0		
		担当課	人権同和・男女共同参画課							
写真等										

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)							
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策方針決定過程における男女平等の促進	<p>No. 事業名</p> <p>12 各役職段階に占める女性職員の割合の向上</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・高知市特定事業主行動計画において、令和7年度時点の数値目標等を設定しており、数値目標の達成に向けて、特定事業主行動計画や前年度の実績数値の他、ワークライフバランスに関する情報等について、庁内掲示を活用して周知を図った。</p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>女性職員の活躍のためには、長時間勤務の是正や男性の家事・育児等への参加、固定的性別役割分担意識の解消等が課題であり、女性職員に限らず広く職員全体への意識付けが必要であると考えている。そのためにも、引き続き庁内掲示を活用し、ワークライフバランスや女性活躍に関する情報提供に努めていきたい。</p>								
		<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>高知市特定事業主行動計画に基づき、事務系の職種について男女の区別なく実績・能力に基づき、管理的地位への登用を行う。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>○令和5年度の実績(女性職員の割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部長・副部長級:15.0%</li> <li>・課長級:20.8%</li> <li>・課長補佐級:41.5%</li> </ul> <p>各役職段階に占める女性職員の割合について、数値目標(令和7年度末時点)の達成には至っていないものの、全体的に上昇傾向が続いている。</p>									
<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	0	0	0			<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p>
R3	R4	R5	R6	R7								
0	0	0										
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>女性職員のキャリア形成についてイメージしやすいような情報や、ワークライフバランスに関する情報等を庁内掲示により周知する。</p>	<p>担当課 人事課</p>	<p>【課題等】</p>										
<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合:部長副部長14%以上 課長22%以上 課長補佐45%以上</p>	<p>写真等</p>											

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)												
1	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>女性の活躍応援講座【オンデマンド配信】</p> <p>講座名:「タイムマネジメント」で、私の明日をブラッシュアップ                      開催日:10月22日～11月4日                      講師:山岡仁美(株式会社グロウス・カンパニー・プラス代表取締役)                      参加者:183名</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・女性の活躍応援                      職場や地域で活躍する女性が政策・方針決定過程への参画等、活躍の場を広げ、リーダーシップを発揮するために必要な能力を磨く講座の実施。(オンライン配信)</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>女性の活躍応援講座 参加者数 60名</p> <p>(参考)関連する数値目標                      男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>女性の活躍応援講座【オンデマンド配信】</p> <p>講座名:「タイムマネジメント」で、私の明日をブラッシュアップ                      開催日:10月22日～11月4日                      講師:山岡仁美(株式会社グロウス・カンパニー・プラス代表取締役)                      参加者:183名</p> <p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>女性活躍に必要なマインド&amp;スキルアップにつながった。企業研修として活用できるよう、オンデマンド配信により実施。広報を高知県経営者協会に協力してもらい、参加者増につながった。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>次年度も企業研修としての活用を想定し、オンデマンド配信により実施。</p> <p>実施時期:令和6年10月21日～11月3日                      実施方法:オンデマンド配信                      講師:山本幸美(株式会社プラウド 代表取締役)                      講座名:「完璧じゃないほうが魅力的なリーダーになれる!～仕事と人生を豊かにする3つの法則～」</p>
		自課評価	R3					B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)										
R4	A																		
R5	A																		
R6																			
R7																			
13	人材育成事業(女性の活躍応援)	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>91</td> <td>424</td> <td>160</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(講座チラシ, オンデマンド配信画面)</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		91	424	160							
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7														
	91	424	160																

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)
1	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・ソーレホームページの統計資料に「データで見るこうちの男女共同参画2022」を掲載</p> <p>・県民企画「植木枝盛の女性解放論」講演会開催へ助成(参加者40名)</p> <p>※ソーレまつり2024のオンライン特設サイトでも配信を実施</p> <p>・ソーレまつり2024において、シンポジウム「増やせ女性議員！なくせ女性ゼロ議会～土佐町・馬路村・中土佐町の声を再び～」をこうち男女共同参画ポレールに委託し開催(参加者32名)</p>	<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>・情報収集及び提供, 広報・啓発情報紙, SNS, ホームページ等を活用し, 政治分野への女性の参画に関する情報提供及び啓発を行う。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>様々なデータの提供, 講演会等企画運営を委託することにより, 女性参画の現状及び女性の政治分野への参画拡大の重要性について, 県内広域での周知をすることができた。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>講演, 研修会の開催等啓発事業を通じた政治分野への女性の参画に関する情報の提供を行うとともに, 情報紙やホームページ, SNSによる情報発信や多様な啓発ツールによる意識啓発を行う。</p>				
		14	情報の収集及び提供, 広報・啓発事業(政治分野への女性の参画)								
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策, 方針決定過程における男女平等の促進	◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>		<p>社会情勢の変化に注視しながら, 男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため, さまざまな形で知る機会を提供する。</p>	<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>情報紙及びSNSを通じ, 政治分野への女性の参画に関する情報等を発信する。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>様々なデータの提供, 講演会等企画運営を委託することにより, 女性参画の現状及び女性の政治分野への参画拡大の重要性について, 県内広域での周知をすることができた。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>講演, 研修会の開催等啓発事業を通じた政治分野への女性の参画に関する情報の提供を行うとともに, 情報紙やホームページ, SNSによる情報発信や多様な啓発ツールによる意識啓発を行う。</p>				
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7				
		担当課	ソーレ								
		◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加		<p>写真等(ホームページ統計資料掲載)</p> 					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																													
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	<p>2 ア No. 事業名</p> <p>15 人権啓発の推進</p> <p>◆事業(概要) 人権尊重の意識を高める啓発活動を実施する。(講演会、関係機関と連携した人権啓発、出前講座など)</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、社会全体の人権意識の高揚をはかる。</p> <p>◆活動指標(目標) 講演会等の啓発活動を年15回以上とする。</p> <p>(参考)関連する数値目標 DVを内容まで知っていると感じた人の割合:70%以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>●啓発活動 計34回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部落差別をなくする強調旬間 映画会 「破戒」 参加者461名</li> <li>・部落差別をなくする強調旬間地域講演会 演題:『母から娘へ そして孫へ～部落差別から人権を考える～』 講師:坂田かおりさん 参加者37名</li> <li>・企業向け講演会 演題:『誰もが働きやすい社会とはー「仕事×ジェンダー」の視点から考えるー』 講師:安藤 真由美さん 参加者75名</li> <li>・人権の花運動(人権擁護委員との連携)実施 小学校等10か所</li> <li>・サッカー、野球冠協賛試合(高知県人権啓発センター主催)での啓発 計2回</li> <li>・出前講座 19回 計1,444名</li> </ul> <p>決算額 (千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>1,691</td> <td>1,457</td> <td>1,418</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p> 	R3	R4	R5	R6	R7	1,691	1,457	1,418			<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部落差別をなくする強調旬間事業では、より多くの方に興味を持ってもらうため、昼の部と夜の部の2回、映画上映会を行い、例年以上の参加があった。</li> <li>・出前講座では「ジェンダーってなんだろう」「防災をジェンダー平等の視点で考えよう」「ジェンダーSOGIについて」等のジェンダーや性の多様性に関する出前講座を行った。</li> </ul> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き講演会や出前講座等の啓発活動を行っていく。その中でオンライン開催等、状況に応じた手法を検討する。</li> </ul> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		R3	R4	R5	R6	R7																												
1,691	1,457	1,418																																
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																															
	R4	A																																
	R5	A																																
	R6																																	
	R7																																	
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																																	
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																																	
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																	
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)												
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	No. 16 事業名 DV防止啓発	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展開催(11月6日～11月17日, 会場:市役所本庁舎)</li> <li>・庁内トイレのDVカードの設置(44箇所)</li> <li>・課Instagramでの記事掲載</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	A	R6		R7		<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用し, 若年層を対象に継続して啓発を行っていく。</li> <li>・DVで悩んでいる方に必要な情報が届くように他機関と協力した啓発方法を検討する。</li> </ul>
		自課評価	R3	B		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)											
R4	C																
R5	A																
R6																	
R7																	
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVに関する相談先の周知に努める。</li> <li>・DVについて正しい知識を持てるよう, 若年層への啓発に努める。</li> </ul> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>DV等について正しい認識を持てるよう, 若年齢期からの啓発に努める。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>DV等の防止啓発のために, パネル展開催(年1回以上), 庁内トイレ及び授乳室へのDVカードの設置(44箇所)を継続する。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると感じた人の割合:70%以上</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きパネル展の開催, DVカードの設置を行った。</li> <li>・課InstagramにてDVに関する記事を掲載し(2回), 啓発した。</li> </ul>	<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>						
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。																
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																
		<p>◆<b>決算額(千円)</b></p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>560</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	560	0	0			<p>◆<b>担当課</b></p> <p>人権同和・男女共同参画課</p>	<p>◆<b>写真等</b></p>  <p>パネル展「DVはヒトゴトじゃない」</p>			
R3	R4	R5	R6	R7													
560	0	0															

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																					
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	No. 17 DV・デートDVに関する啓発及び情報提供  <b>◆事業(概要)</b> ・啓発(講演会, 啓発事業, 出前講座等) ・DV防止を広く啓発する講演会, 啓発事業, 出前講座, 関連講座の実施  <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら, 男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため, さまざまな形で知る機会を提供する。  <b>◆活動指標(目標)</b> ・講演会(オンライン配信) 参加者数100名 ・啓発事業の実施 ・出前講座, 関連講座(家族のコミュニケーションに関する講座)の実施  <b>(参考)関連する数値目標</b> DVを内容まで知っていると感じた人の割合: 70%以上	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・学生・生徒等を対象にデートDVに関する出前講座を実施し, 意識啓発及び情報提供を行い, 参加者へのDV防止啓発を実施(6件, 899名参加) ・DV防止啓発講演会を開催(会場90名, オンライン380名参加) ・DVの予防を目的として家族間のコミュニケーションに関する講座を実施(21名参加) ・学生ボランティア体験を実施し, 高校生にDV防止の周知・意識啓発(19名参加) ・情報紙 ソーレスコープ108号にDV防止講演会(R5年度実施)の概要を掲載し, 意識啓発を実施  決算額(千円) <table border="1" data-bbox="616 901 1113 981"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>338</td> <td>346</td> <td>343</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 担当課 ソーレ  写真等 左:講演会 右:ハ・プルホンツリ(工科大) 	R3	R4	R5	R6	R7	338	346	343			自課評価 <table border="1" data-bbox="1113 284 1653 470"> <tr> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="4">                             評価基準                              A: 目標達成(100%以上)                              B: 概ね達成(80~100%未満)                              C: 少し下回った(60~80%未満)                              D: 大きく下回った(60%未満)                         </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <b>◆検証《達成状況, その要因》</b> 出前講座や講演会等の実施により, 参加者のDV防止に向けた理解が進んだ。	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	A	R6		R7			<b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b> 男女共同参画及び女性問題について, デジタル啓発誌や動画等の多様な啓発ツールを作成し, 出前講座やSNS等を通じて啓発し, 県民の正しい理解につなげる。
		R3	R4	R5	R6	R7																				
338	346	343																								
R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																								
R4	B																									
R5	A																									
R6																										
R7																										

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	D V ・ 性 犯 罪 等 暴 力 を 根 絶 す る た め の 啓 発 の 充 実	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 要保護児童対策地域協議会の実施(実務者会議年24回・新規ケース連絡会年12回・代表者会議年1回・個別ケース会議年260回)を開催し、児童虐待予防をメインとして男女の人権尊重にも触れた。	自課評価 R3 B R4 B R5 B R6 R7	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 令和6年度も引き続き講演会を通しての一般市民向けへの児童虐待予防の啓発と関係機関への児童虐待対応研修を行い、また、必要に応じて子ども家庭支援センター職員が関係機関へ出向いて、研修を行っている出前講座の対応も行うこととしており、児童虐待予防を積極的に推進していく。	
		<b>◆事業(概要)</b> ・要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために、関係機関、関係団体及び児童の福祉に関連する職務に従事する者等により構成される「要保護児童対策地域協議会」において、当該児童に関する情報や支援についての考え方を共有し、適切な連携のもとで対応する。 ・児童虐待問題に対する深い関心と理解促進、また、虐待の発生予防、早期発見・早期対応推進のため、児童虐待対応研修の実施や、広報紙、講演等を通じて、継続的な広報・啓発活動を行う。 <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 子どものいる家庭におけるDVは、児童の人権を著しく侵害し、その心身の成長や人格の形成に重大な影響を与え、将来の世代の育成にも懸念を及ぼす問題であり、関係機関等が連携しつつ、適切な対応に努める必要がある。 また母親が被害者である場合、長期の支配下で依存傾向が強く、判断能力の低下や、経済的自立に段階的な対応が必要な場合があり、特に女性相談支援センターや母子生活支援施設との連携が重要となる。	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 講演会のテーマは「ステップファミリー～親の離婚・再婚と子どものキモチ～」。講演会会場では支援者だけではなく、当事者の参加が男女ともに見受けられた。それぞれの家庭の抱える課題を父親、母親、子どもそれぞれの視点で捉えた講演会の内容は、家族観や家族の多様性を考えるきっかけとなった。 児童虐待対応研修においては、児童虐待対応にかかる発生予防、早期発見・早期対応推進がメインとなっている。子育ての部分では、日頃から母だけではなく父についても積極的な子育てへ関わりを持つことも現場では、伝えており男女共同参画の視点についても触れる等して意識啓発している。	昨年度は大阪産業大学経済学部准教授、ステップファミリー支援組織 SAJ 運営委員、日本離婚・再婚家族と子ども研究会理事、阪府大東市男女共同参画社会行動計画 策定委員菊地 真理氏を招き、ご自身の経験を踏まえステップファミリーそれぞれの気持ちに焦点をあて、家族の多様性とその多様性に即したこれからの家族のあり方について講演をしていただいた。毎年市民向けの講演会テーマは変更しており、今年度はゲーム依存をテーマとし、「ネット、スマホ、ゲーム依存からの脱却、治療、予防」を講演していただく予定である。 講演会は市民向けとして、広く参加者を募っているため、今後はより充実した講演にするために啓発方法は講師とも協議し、参加者を少しでも増やしていけるよう広報を工夫していく。 関係機関への虐待対応研修では、事例を上げ積極的にワークショップ形式も行い、関係職員の対応力の向上を図っており、今後も継続していくこととしている。	
決算額 (千円) R3 846 R4 837 R5 853 R6 R7	<b>◆推進委員会の点検項目</b> 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】			
担当課 子ども家庭支援センター	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】			
写真等 	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
<b>(参考)関連する数値目標</b> DVを内容まで知っている人と答えた人の割合:70%以上	工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)									
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	<p>No. 事業名</p> <p>19 情報モラル教育の推進</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等からの出前授業の依頼には100%対応した。</li> <li>・基本的な情報モラル授業だけではなく、依頼してきた学校の実態や発達段階に応じて、当該教員と教材や課題内容の確認等を行い、常に授業内容を変化させながら授業実践した。</li> <li>・少年補導センターの職員を派遣する際も、小学校・中学校の補導教員が行く場合や、教員と警察籍の職員がペアになって行く場合等、依頼内容に応じて変えていく工夫をした。</li> <li>・小・義務教育学校の2年生と6年生に情報モラルの合言葉「あみのめせかい」をデザインした啓発クリアファイルを配付した。</li> <li>・小・義務教育学校4年生から6年生までの3年間を通して使用することを目的とした「あみのめせかいノート」を、小・義務教育学校4年生に配付した。</li> </ul>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットが活用され毎日の持ち帰りが行われることにより、ネットトラブルの増加や低年齢化が予想されるため、今まで以上に学校と連携して情報モラル教育の推進や啓発が必要になると考える。しかし、出前授業の実施が少年補導センター主体になってしまっているため、学校主体で取り組んでいただけるように依頼書への記載内容の変更や、「あみのめせかいノート」の活用等呼びかけていく。また、年々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようにする。</li> </ul>										
		<p>◆事業(概要)</p> <p>インターネットに関する正しい知識を身に付け、ネットトラブルを未然に防止するため、情報モラル教育を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演, 出前研修</li> <li>・広報, 啓発</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>未成年の健全育成という観点から加害者にも被害者にもさせないという意識で啓発・指導に取り組む。</p>	<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの依頼には100%対応できた。(99団体・219回)</li> <li>・学校からは、実際にあったトラブルや事案をもとに授業を実施してくれたことで児童生徒にはストレートに指導が入り、助かったという声や、色々な校種や職種の方が来ていただいたことで、より専門的な観点で授業を展開してくれて効果的だったという声をいただいた。</li> <li>・全市立小中学校の児童生徒を対象に行った「インターネット利用にかかわる実態調査アンケート」の結果を授業内容に取り入れることで、児童生徒たちが自分のこととして考えることができていたとの声もいただいた。</li> <li>・日常的なタブレットの持ち帰りが始まり、家庭でのタブレットの使い方に関する授業依頼も増え、対応できた。</li> </ul>											
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>528</td> <td>574</td> <td>282</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		528	574	282			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</li> </ul>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7									
	528	574	282											
<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼のあった学校等で情報モラルの講演や出前授業を実施する。依頼への対応 100%</li> <li>・インターネットの危険性を伝えるとともにフィルタリングの必要性や正しいネットとの付き合い方等を指導、広報していくよう啓発を行う。</li> </ul>	<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施方法は適切か。</li> <li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li> </ul>	<p>【課題等】</p>												
<p>◆(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると言えた人の割合:70%以上</p>	<p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li> <li>・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</li> </ul> <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li> </ul>	<p>写真等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小学校4年生に配付</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小学校2・6年生に配付</p> </div> </div>												

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)		
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	No.	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・人権相談 16件(うち, DVに関するもの6件)必要に応じ, 専門の窓口を案内した。 ・職員が各種研修へ参加(人権啓発指導者養成研修会, 県主催犯罪被害者等支援研修会他)し, 資質向上を図った。 ・特設人権相談(人権擁護委員による相談)について市ホームページでの案内をした。 ・人権擁護委員の周知を目的に, 6月1日「人権擁護委員の日」に合わせ, 本庁舎1階で啓発活動を行った。	自課評価 R3 A R4 A R5 A R6 R7	<b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b> ・引き続き研修等に積極的に参加し, 職員の相談スキルの上昇等に努めるとともに, 人権擁護委員等と連携し, 相談に対応していく。		
		20		人権全般における相談体制の充実		評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	
		<b>◆事業(概要)</b> ・様々な人権問題についての相談に応じ, 関係機関と連携し必要な支援を行う ・特設人権相談所の開設 ・相談にあたる職員の資質の向上を目的に各種研修会へ参加する		<b>◆検証《達成状況, その要因》</b> ・研修等を通じて, 職員の資質向上を図ることができ, 人権相談に対しても適切に対応できた。			
		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> あらゆる人権課題の解決とすべての人の人権が尊重される社会の実現を目指す。		<b>◆推進委員会の点検項目</b>			
		決算額(千円) R3 15 R4 48 R5 70 R6 R7	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】				
		担当課 人権同和・男女共同参画課	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
		写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。				
			有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
			工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				
		<b>◆活動指標(目標)</b> ・研修等を通じて相談にあたる職員の資質向上及び相談窓口の周知を図る。 ・法務局人権擁護委員と連携し, 市民からの予約に応じて特設人権相談所を開設する。	【課題等】				
		<b>(参考)関連する数値目標</b> DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合: 30%以下					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																	
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	<p><b>Plan(計画)</b></p> <p>No. 21 事業名 DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化</p> <p>◆事業(概要) ・緊急かつ重大な被害を未然に防止するため、スムーズな庁内・庁外の連携を図る。 ・相談者の安全に配慮し、DV等被害者支援の知識や能力を持つ職員の育成に努める。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 ・被害者が配偶者等からの暴力で心身ともに傷ついていること、個別の状況があることに留意し、その人の立場に配慮した対応を徹底する。不適切な対応により、被害者に更なる被害(二次的被害)が生じることのないよう配慮する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・DV被害者を支援する関係各課との連携、情報共有を図る。</p> <p>(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<p><b>Do(実施)</b></p> <p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・8月21日に高知県女性相談支援センターにて出前講座を実施(高知市のDV被害者支援について説明、意見交換)。 ・県主催の会議、研修会へ出席(2回)。</p>	<p><b>Check(点検)</b></p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》 ・女性相談支援センターへの出前講座にあたり庁内の支援・連携体制について、再確認・共有することができた。 ・県主催の会議・研修会へ出席し、相談対応のスキルアップを図るとともに、庁外関係機関との連携強化を図ることができた。</p>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		<p><b>Action(見直し)</b></p> <p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・引き続き定期的にネットワーク会議を開催する。また、庁内関係各課と日頃から密に連絡を取り合い、情報共有を徹底する。 ・あわせて女性相談支援センター等の庁外関係機関とも連携強化に努める。</p>					
		自課評価	R3	A		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																
R4	A																					
R5	A																					
R6																						
R7																						
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0			<p><b>Check(点検)</b></p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>Action(見直し)</b></p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																	
	0	0	0																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																					
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																					
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																					
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	<p>No. 22 相談事業</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談 2,965件</li> <li>・法律相談 月2回(1回4名まで)94件</li> <li>・こころの相談 月2回(1回2名まで)46件</li> <li>・男性相談 月4回(1回2名まで)72件</li> <li>・性的少数者対象:にじいろコール～LGBTsに関する相談～ 月1回 17件</li> <li>・相談の多い内容について相談関連講座を実施した。3講座, 194名参加</li> </ul>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な相談窓口として, 情報紙, ホームページ, SNS等で広報し, 相談につながるよう, 引き続き取り組む。</li> <li>・男性相談の4回のうち1回を, ZOOMによるオンライン対応へ変更。</li> </ul>																					
		<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性対象:一般相談(開館日)</li> <li>・専門相談(法律相談/月2回, こころの相談/月2回)</li> <li>・令和3年度からこころの相談を月2回に拡充</li> <li>・男性対象:令和5年度から男性のための悩み相談 月4回に拡充</li> <li>・LGBTsに関する電話相談(にじいろコール)/月1回 令和3年度試行, 令和4年度開始, 令和5年度からフリーダイヤルに変更</li> </ul> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら, 男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため, さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談 2,000件以上(DVを含む)</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>一般相談件数は前年の約1.5倍, 法律相談・こころの相談・男性相談の相談件数も前年度より増加した。</p> <table border="1" data-bbox="1120 359 1646 478"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1120 478 1646 558"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,741</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(相談窓口紹介チラシ)</p> 	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	1,741
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																						
	R4	A																							
	R5	A																							
	R6																								
	R7																								
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																				
	0	0	1,741																						

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)				
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	2	イ	No.	事業名	◆ <b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・相談員スキルアップ研修 参加者延べ42名 テーマ「震災に備える」全3回実施 ①震災とジェンダーバイアス ②被災地相談から見えてきたこと ③こころのケア～被災者への寄り添い～					自課 評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成 (80~100%未満) C: 少し下回った (60~80%未満) D: 大きく下回った (60%未満)	◆ <b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b>	
	23	相談体制の充実	◆ <b>事業(概要)</b> 相談関係者に対する研修及び相談に関連する女性問題の解決に向けた啓発 ・相談員スキルアップ研修 ・相談関連講座					◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	R4		B	・相談員スキルアップ研修 支援者のメンタルヘルスを考える研修を行う。 オンデマンド・ライブ配信を実施し、参加者の増加につなげる。 ①セルフケア力を高める 6月2日開催 ※オンデマンド配信あり ②マインドフルネス体験 6月23日開催			
◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>	・相談関連講座 ①幸せ力を育む ～ありのままの受け入れ～(全2回) 延べ17名参加 ②あなたの気持ち, 伝わっていますか? ～気持ちが通うコミュニケーション～ 21名参加(うち男性3名) ③女性の居場所づくり「ゆるりのしっぽ」 全6回/延べ156名参加 ※「コスメバンクプロジェクト」と連携し、化粧品セットを無償で、初参加で希望する方に提供					◆ <b>関連講座</b> 女性の居場所づくり「ゆるりのしっぽ」第4回において「ふらりとゆるりつつながる相談会」を開催。複合的な悩みを抱え、生きづらさを感じている女性の孤立や孤独を防ぐよう、一時的な支援と合わせて、安心して相談できる機会を提供できた。	R5		B	・相談関連講座 家族間のコミュニケーションをテーマとして、暴力予防, 深刻化を防ぐ講座と, 生きづらさ・働きづらさを感じているための女性のための講座を実施。 ①近き仲にも礼儀あり?!～心地よい親子関係～(令和7年2月8日開催) ②女性の居場所づくり事業「ゆるりのしっぽ」全6回					
◆ <b>活動指標(目標)</b>	社会情勢の変化に注視しながら, 男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため, さまざまな形で知る機会を提供する。						◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	R6		・相談員スキルアップ研修 研修を通じて, 県内相談機関及び相談員との連携を推進することができた。					
◆ <b>活動指標(目標)</b>	・相談員スキルアップ研修 実施回数 3回 参加者数各回30名 ・相談関連講座 実施回数 3回 参加者数 50名					◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>		R7		・関連講座 女性の居場所づくり「ゆるりのしっぽ」第4回において「ふらりとゆるりつつながる相談会」を開催。複合的な悩みを抱え, 生きづらさを感じている女性の孤立や孤独を防ぐよう, 一時的な支援と合わせて, 安心して相談できる機会を提供できた。					
◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>	DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合: 30%以下						◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>			◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>				
◆ <b>活動指標(目標)</b>			決算額 (千円)	R3	R4	R5		R6	R7	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>				
◆ <b>活動指標(目標)</b>			担当課	ソーレ					◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>					
◆ <b>活動指標(目標)</b>			写真等(講座チラシ)					◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>						
◆ <b>活動指標(目標)</b>								◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	No. 事業名  24 ハラスメント防止研修  <b>◆事業(概要)</b> 市職員等を対象としたハラスメント研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。  <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。  <b>◆活動指標(目標)</b> ・管理監督職員を対象とした研修を実施する。 ・ハラスメント苦情相談窓口の周知を図る。  <b>(参考)関連する数値目標</b> セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、対象者ができるだけ受講できるように8コース設定した。また、令和2年度から実施しているため、ハラスメントに関する基礎知識はすでに理解しているという前提で講義内容を組み立て、実際にハラスメントが発生した際の対応方法について、グループでケース検討を行うなど、実践的な講義内容とした。  決算額 (千円) R3: 0, R4: 0, R5: 0, R6: , R7:  担当課 人事課  写真等	自課評価 R3: A, R4: A, R5: A, R6: , R7:  <b>◆検証《達成状況, その要因》</b> ○管理職を対象としたハラスメント防止研修・・・(284人, 受講率75.7%)  ・管理職を対象としたハラスメント防止研修については、新任の管理職においては約90%となっているが、再度の受講となる新任以外の管理職においては受講率が低くなった。  ・ハラスメント苦情相談員の周知について、6月に庁内掲示を行い、新採研修(4月, 10月, 1月実施)において周知を行った。  <b>◆推進委員会の点検項目</b> 必要性: ・事業がプランの数値目標に結びつくか。 効率性: ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適切か。 有効性: ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。 工夫・配慮: ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b> ハラスメントのない職場を目指して、研修内容の充実を図るとともに、受講対象者に研修の必要性を理解させ、受講を促す。また、研修の効果についても検証し、今後の研修内容に反映していく。  <b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】  【課題等】	

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)					Action(見直し)									
2	ウ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・サポーター講師 13件13回 参加者数1,926名(うち男性546名)</p>	<p>◆<b>事業《達成状況, その要因》</b></p> <p>コロナ5類移行により、出前講座の依頼件数は前年度に比べ約4倍と増加し、参加者数についてもオンデマンド配信の活用により増加した。</p>	自課評価	R3	A	<p>評価基準</p> <p>A: 目標達成(100%以上)</p> <p>B: 概ね達成(80~100%未満)</p> <p>C: 少し下回った(60~80%未満)</p> <p>D: 大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>引き続き広報によるニーズの掘り起こしや、郡部からも参加しやすいように、講座のオンデマンドまたはライブ配信を活用する。また、ソーレ登録のサポーター講師の発掘を行う。</p>										
		25	出前講座				R4	A			R5	A	R6		R7					
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>ハラスメント防止に関する出前講座の実施。</p>						<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p>														
<p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p>						<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p>														
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>申込に応じて出前講座に講師を派遣する。</p>				<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>58</td> <td>103</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R3	R4	R5	R6	R7	29	58	103			<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p>				
R3	R4	R5	R6	R7																
29	58	103																		
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>申込に応じて出前講座に講師を派遣する。</p>				<p>担当課</p> <p>ソーレ</p>		<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p>														
<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>				<p>写真等(出前講座紹介チラシ)</p> 		<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p>														

DVやハラスメントのない社会をつくりましょう

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	2 ウ No. 事業名 26 性的少数者に関する電話相談 ◆事業(概要) にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30~16:30 専用電話番号(フリーダイヤル)で専門の相談員がLGBTsに関する相談を受ける。 ◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。 ◆活動指標(目標) LGBTsに関する相談を受ける。 (参考)関連する数値目標 —	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 令和5年度から若年層の利用促進と相談への心理的ハードルを下げることを目的に、フリーダイヤルを導入。 月1回 相談件数17件 実施時期 毎月第4土曜日 13:30~16:30 実施方法 専門相談員による電話相談 決算額 (千円) R3 218 R4 156 R5 157 R6 R7 担当課 ソーレ 写真等(相談窓口紹介チラシ) 	自課評価 R3 D R4 B R5 B R6 R7 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満) ◆検証《達成状況, その要因》 情報紙に相談室の案内を毎号掲載するとともに、テレビ、ラジオ、SNS等により積極的な広報を行った。 相談件数は前年並の実績となった。	◆対応《改善, 今後どのようにするか》 引き続き、相談窓口についての積極的な広報を行い、県内全域への周知を図る。	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																												
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	<p>No. 27 男女共同参画推進企業表彰</p> <p>◆事業(概要) 「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」に基づき、男女共同参画の推進に関する活動を積極的に実施している事業者を表彰し、市内事業者の男女共同参画推進を目指す。</p> <p>◆男女共同参画の視点 育児・介護休業制度の充実やワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍を支援する取組などを積極的に実施する事業者を表彰することで、働く場におけるジェンダー平等の意識向上を図る。</p> <p>◆活動指標(目標) 表彰企業数 3社以上</p> <p>(参考)関連する数値目標 高知市男女共同参画推進企業の表彰企業数:毎年3社以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・表彰企業数 6社(応募6社)。 (株)片岡電気工事, 北村商事(株), (株)高知電子計算センター, 新進建設(株), 社会医療法人仁生会, 南海化学(株)土佐工場(※50音順)</p> <p>・8月1日に本庁舎特別応接室にて表彰式を実施した。</p> <p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>20</td> <td>29</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p> 	R3	R4	R5	R6	R7	28	20	29			<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="7">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>・目標を達成することができた。 ・募集時に、チラシ配布のほか、商工会議所や青年会議所等の関係団体へ周知を依頼し、市内事業者に対し、事業を広く広報したことで目標を超える企業から応募があった。</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>・表彰企業の取組内容を詳しく紹介するチラシと動画を作成し、事業のPRIに活用していく。 ・今後も募集時の広報や表彰企業のPR方法を工夫し、市内事業者へ男女共同参画の取組の浸透を図っていく。</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		R3	R4	R5	R6	R7																											
28	20	29																															
R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																															
R4	A																																
R5	A																																
R6																																	
R7																																	
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																																
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																																
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																														
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう	3 ア	No. 事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・育児休業を実際に取得した男性職員の名簿や、体験記を庁内掲示し、広く職員全体に対して周知を図った。</p> <p>・国・地方の公務員に係る男性の育児休業取得率の政府目標を踏まえ、本市の特定事業主行動計画に定める男性職員の育児休業取得率の令和7年度末時点の数値目標を、「2週間以上の取得率85%」に引き上げるとともに、男性職員の育児休業等取得促進に向けた新しい取組について検討、準備を行った。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>・本市の男性職員の育児休業取得率は順調に上昇しているが、特定事業主行動計画における新たな数値目標を達成するため、令和6年度より開始する新たな取組(育児休業等取得計画の作成や相談窓口の設置等)について、より実効性の高い取組となるよう適宜見直しを図っていく。</p> <p>・配偶者出産時特別休暇や育児参加特別休暇の取得率が伸び悩んでいることから、休暇の内容や手続等について周知を図っていく。</p>																															
	<p>28 男性職員の子育て参加の促進</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>男性職員の育児休業等の取得促進を図るとともに、子育てに理解ある職場風土の形成を図るため、子育てや関係する各種制度について職員への継続的な情報提供を行う。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>男性職員が積極的に育児に参加することで、女性が仕事と子育ての二者択一を迫られる状況の解消につながる。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・子どもが生まれた男性職員とその所属長に対し、男性職員が取得できる休暇や共済組合の給付制度についての周知文書を送付する。</p> <p>・育児休業を取得した男性職員の名簿や、子育てに関する休暇等について、庁内掲示により情報提供を行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標 高知市男性職員の育児休業取得率：36%以上</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>○令和5年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性職員育児休業取得率:48.1%</li> <li>・配偶者出産時特別休暇取得率:86.1%</li> <li>・育児参加特別休暇取得率:75.9%</li> </ul> <p>・国の「こども未来戦略」に基づく各種施策により、男性の育児参加の機運が高まってきていることや、職員への継続的な情報提供により、本市においても子どもが生まれた男性職員への意識付けや、男性の育児参加に関する職場の理解が進んできていると感じる。</p> <table border="1" data-bbox="629 911 1115 997"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 人事課</p> <p>写真等</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0			<table border="1" data-bbox="1133 284 1668 475"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1" data-bbox="1133 911 1668 1466"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																														
	0	0	0																																
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																																
	R4	B																																	
	R5	B																																	
	R6																																		
	R7																																		
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																																		
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																																		
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																		
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)									
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ワーク・ライフ・バランスの推進	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>中小企業等に対する助成制度を中心に、労働関連法の改正等の情報を掲載した。できるだけ多くの方に読んでいただけるように、読者目線で興味を引く内容となるよう心がけた。</p> <p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>平成18年度から発行している「高知市労働ニュース」で労働関係の施策について周知を図る。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>働きたい人が性別にかかわらずその能力を十分に発揮できるように、労働者や事業者に対して法や制度の周知を図る。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>年4回発行(令和5年度の主な内容)                  6月号:企業向けまちづくり窓口相談ほか                  9月号:産業政策課の助成事業ほか                  12月号:高知市技能功労者表彰式、高知市男女共同参画推進企業表彰式ほか                  3月号:えるほし認定ほか</p>	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>引き続き労働ニュースを発行し、雇用、労働の制度改正に関するニュースを中心に、時宜に合った情報を届ける。</p>										
		<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 産業政策課</p> <p>写真等</p>  <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>・「高知市労働ニュース」を年4回発行し、情報誌への折込や労働組合等に配布するとともに、市ホームページに掲載し幅広く広報を図る。                  ※配布先:情報誌「情報プラットフォーム」:1000部、労働組合:200か所</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数:毎年3社以上</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		9	9	10		
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7									
	9	9	10											

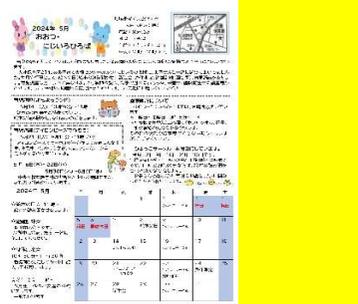
基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	ワーク・ライフ・バランスの推進	<p>No. 30 事業名 ワークライフバランス事業 (男性家事・介護基礎講座)</p> <p>◆事業(概要) ・男性家事・介護基礎講座 男性の家事・育児・介護への参画を促進し、男女の性別役割分業についての気づきと身辺自立やワーク・ライフ・バランスの充実について考える機会を提供する。夏休み親子教室、家事講座、介護講座の3講座を実施。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・男性家事・介護基礎講座 実施回数 3回 参加者数 72名</p> <p>(参考)関連する数値目標 —</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、親子料理教室等を実施した。 ①家事男親子料理教室 講師：山本尚高(ザクラハウス新阪急高知副総調理長)，参加者：9名 ②家事男料理教室 講師：島村昌利(RKC調理製菓専門学校校長)，参加者14名 ③ケアメンをサポート「高知県の男性ケアラーの現状と支援を考える」～男性介護者に関する調査を終えて～ 講師：江西一郎(ケアメンいごっそう会長)，津止正敏(立命館大学教授)，参加者：会場14名・オンデマンド32名</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》 男女の性別役割分担意識への気づきと、身辺自立やワークバランスについて考える機会を提供し、男性の家事・育児・介護への主体的な参加を促進する。 中高年齢層男性への性別役割分担意識への気づきを意識し、夏休みシーズンに男性保護者(親、祖父)と子(孫)料理教室を実施するとともに、家事講座、介護講座を全3回実施する予定。 また、講座の内容によりオンデマンド配信を検討し、受講者の増加につなげる。</p>																					
		<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3 27</td> <td>R4 163</td> <td>R5 219</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">ソーレ</td> </tr> </table> <p>写真等(講座チラシ、講座第2回目の様子)</p> 	決算額(千円)	R3 27	R4 163	R5 219	R6	R7	担当課	ソーレ					<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>C</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》 参加者数は延べ69名と、目標参加者数に僅かに届かなかったが、固定的な性別役割分担意識やワークライフバランスについて考える機会を提供できた。 また、第3回講座では、会場開催と併せ、オンデマンド配信も実施することにより、来館が困難な介護者の参加につながった。</p>	自課評価	R3	C	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	
決算額(千円)	R3 27	R4 163	R5 219	R6	R7																				
担当課	ソーレ																								
自課評価	R3	C	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																						
	R4	B																							
	R5	B																							
	R6																								
	R7																								

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	3 イ	No. 事業名	◆ <b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、感染拡大による長期間の閉所はなく、年間を通して開設することができたが、乳児や妊婦が多く利用する施設であることから、引き続き消毒の徹底等を行い、利用者が安心して過ごせる環境となるよう図った。	◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b> 市内16か所の施設で、子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が得られるよう事業を実施している。 土曜日に6施設、日曜日に4施設、祝日に3施設が開設しており、父親を含め様々な家庭の事情に沿った利用しやすい環境となるよう図っている。	
	31 地域の子育て支援・子育て相談	◆ <b>事業《概要》</b> 地域子育て支援拠点事業(子ども育成課・保育幼稚園課所管) 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談や情報提供、助言その他の援助を行う。 【子ども育成課所管】 社会福祉法人に業務委託して市内4か所(東・西・南・北部)の地域子育て支援センターで実施。また、NPO法人が開設している地域子育て支援センター2か所と学校法人が開設している地域子育て支援センター2か所に補助実施。	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b> 延べ利用者数: 89,181 人 子ども: 45,384 人 大人: 43,797 人(うち父親 3,654 人) 施設数: 16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。延べ利用者数は目標を上回り、令和5年度は前年度より10,300人増となった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和4年度より763人増となっており、父親が占める割合も令和4年度の7.5%から令和5年度は8.3%と父親の利用が増えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは対面での施設利用が中心となったが、一部施設ではオンライン(zoom)を活用し、支援が途切れない工夫を行うことで、子育て家庭の孤立化防止につなげるよう努めた。	◆ <b>自課評価</b> R3 A R4 A R5 A R6 R7 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	
	◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> 性別に関わらず、育児に関わることが子どもの健全育成につながることから、交流・相談の場を男女ともに行きやすく身近なものとなるよう図り、子育て家庭が孤立しないよう、地域での子育て支援を推進していく。	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b> 延べ利用者数: 89,181 人 子ども: 45,384 人 大人: 43,797 人(うち父親 3,654 人) 施設数: 16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。延べ利用者数は目標を上回り、令和5年度は前年度より10,300人増となった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和4年度より763人増となっており、父親が占める割合も令和4年度の7.5%から令和5年度は8.3%と父親の利用が増えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは対面での施設利用が中心となったが、一部施設ではオンライン(zoom)を活用し、支援が途切れない工夫を行うことで、子育て家庭の孤立化防止につなげるよう努めた。	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b> 延べ利用者数: 89,181 人 子ども: 45,384 人 大人: 43,797 人(うち父親 3,654 人) 施設数: 16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。延べ利用者数は目標を上回り、令和5年度は前年度より10,300人増となった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和4年度より763人増となっており、父親が占める割合も令和4年度の7.5%から令和5年度は8.3%と父親の利用が増えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは対面での施設利用が中心となったが、一部施設ではオンライン(zoom)を活用し、支援が途切れない工夫を行うことで、子育て家庭の孤立化防止につなげるよう努めた。	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b> 延べ利用者数: 89,181 人 子ども: 45,384 人 大人: 43,797 人(うち父親 3,654 人) 施設数: 16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。延べ利用者数は目標を上回り、令和5年度は前年度より10,300人増となった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和4年度より763人増となっており、父親が占める割合も令和4年度の7.5%から令和5年度は8.3%と父親の利用が増えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは対面での施設利用が中心となったが、一部施設ではオンライン(zoom)を活用し、支援が途切れない工夫を行うことで、子育て家庭の孤立化防止につなげるよう努めた。	◆ <b>検証《達成状況、その要因》</b> 延べ利用者数: 89,181 人 子ども: 45,384 人 大人: 43,797 人(うち父親 3,654 人) 施設数: 16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。延べ利用者数は目標を上回り、令和5年度は前年度より10,300人増となった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和4年度より763人増となっており、父親が占める割合も令和4年度の7.5%から令和5年度は8.3%と父親の利用が増えている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは対面での施設利用が中心となったが、一部施設ではオンライン(zoom)を活用し、支援が途切れない工夫を行うことで、子育て家庭の孤立化防止につなげるよう努めた。
	◆ <b>活動指標(目標)</b> ・施設数(高知市合計)16か所 ・地域子育て支援拠点事業 延べ利用者数(高知市合計)61,600人  (参考)関連する数値目標 社会資源「集いの場」状況:705以上	◆ <b>決算額(千円)</b> R3 109,979 R4 118,639 R5 122,342 R6 R7	◆ <b>推進委員会の点検項目</b> 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。  効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。  工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆ <b>推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】   【課題等】	
	◆ <b>活動指標(目標)</b> ・施設数(高知市合計)16か所 ・地域子育て支援拠点事業 延べ利用者数(高知市合計)61,600人  (参考)関連する数値目標 社会資源「集いの場」状況:705以上	◆ <b>決算額(千円)</b> R3 109,979 R4 118,639 R5 122,342 R6 R7	◆ <b>推進委員会の点検項目</b> 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。  効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。  工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆ <b>推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】   【課題等】	



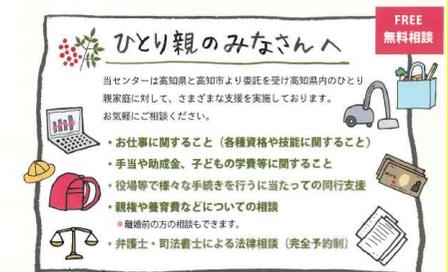
地域子育て支援センターくすくすひろっぱ

基本目標		取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
3	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>援助会員募集及び講習会案内を市広報誌に掲載するほか、地域の窓口センターや地域子育て支援センター、町内会の回覧板、市が包括連携協定を締結している市内のファミリーマートの店内、協力いただける市内の量販店やスポーツクラブ等に会員募集のチラシやファミリーサポートセンターの広報誌を配置してもらい、広く周知を行った。</p> <p>令和5年度は3か所の地域子育て支援センターで延べ5回の事業説明会を実施。利用者を依頼会員につなげるだけでなく、両方会員についてもPRした。</p> <p>性別に関わらず要件を満たせば会員登録が可能となっており、援助のマッチングに当たっては、子どもの性格や行動との相性に加え、内容に応じて援助会員個人の得意分野を活かすことができるよう配慮している。</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>B</td><td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table>	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>よりスムーズにマッチングをするために援助会員の拡大を図る。その取り組みとして、援助会員数が少なく依頼ニーズの高い地区でのポスティングや店舗等でのPR強化を行う。</p> <p>また、必要な子育て家庭が必要な支援につながるよう、今後も継続して地域子育て支援センターに市職員とファミリーサポートセンター職員が出向いての事業説明会を行う。</p>
			R3			B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)										
R4	B																
R5	B																
R6																	
R7																	
32	ファミリー・サポート・センター事業	<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てと仕事の両立支援を主な目的とした有償ボランティアによる相互援助活動。育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(援助会員)が会員となり、ファミリー・サポート・センターが仲介。</li> <li>・事業は(公財)高知勤労者福祉サービスセンターに委託して実施。</li> <li>・援助内容は、保育施設・学校等への子どもの送り迎え、保育施設の間外や学校の放課後等、また保護者の病气や冠婚葬祭等の急用時の子どもの預かり など。援助会員になるためには、所定の講習の受講が必要。</li> <li>・利用料は援助活動終了後、依頼会員が援助会員に直接支払う仕組み。利用料⇒600円~700円/時間(曜日や時間により異なる)</li> </ul> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>就労形態の多様化や共働き家庭の増加等を踏まえ、仕事と家庭生活の両立を支援していくことで、男女がともにいきいきと社会参加できる環境づくりに寄与する。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>令和5年度は、昨年度より1回多い年間4回の援助会員受講が必須の講習会を実施。また、町内会の回覧板でのPRをはじめ、市が包括連携協定を締結している市内ファミリーマート店頭でのチラシ配置(3か月間)、重点地区を設定してのポスティングや量販店・スポーツクラブ等でのチラシ配置など、PRを強化した。会員の入れ替わりが多く、会員数合計は目標を下回ったが、新規会員数は目標を大きく超える成果があった。今後も、援助を希望する人や援助したい人に情報を届けることができるよう広報方法等の工夫・検討を行う。</p> <p>会員数合計:1,279人(新規会員合計116人) 依頼会員登録者数751人(男性47人、女性704人)、5年度新規登録84人(男性7人、女性77人)。 援助会員登録者数479人(男性33人、女性446人)、5年度新規登録29人(男性5人、女性24人)。 両方会員登録者数49人(男性1人、女性48人)、5年度新規登録3人(男性0人、女性3人)。</p>														
			<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数 1,300人</li> <li>・新規会員数 50人/年</li> </ul>	<p>◆<b>検証委員会からの点検項目</b></p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>												
			<p>◆<b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>—</p>	<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>10,979</td><td>12,767</td><td>12,933</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>担当課 子ども育成課</p> <p>写真等</p> 	R3	R4	R5	R6	R7	10,979	12,767	12,933					
R3	R4	R5	R6	R7													
10,979	12,767	12,933															

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	イ	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>33</td> <td>多様な保育サービスの充実</td> </tr> </table>	No.	事業名	33	多様な保育サービスの充実	<p>◆<b>具体的取組(工夫や配慮した点等)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業では、施設ごとに毎月のおたよりの発信や、ホームページやInstagramを活用して事業の内容やセンターの雰囲気、育児講座の様子などを知ってもらい、来所しやすいようなPRの工夫をした。また、育児講座などの開催にあたっては、地域の人材を活用しながら、親子で楽しめる新しい内容を取り入れたりした。</li> <li>・子ども・子育て相談支援員を配置し、教育・保育施設などを円滑に利用できるよう、情報提供や個別の相談対応を行った。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>C</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援事業(一般型)保育所併設等8施設で実施し、延べ利用者数は28,440人であった。令和3年度(21,158人)、令和4年度(25,494人)と前年度より増加してきており、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したこともあって、利用が伸びていると考えられる。</li> <li>・待機児童は5名(令和5年4月現在)。令和4年4月現在は3名であった。</li> </ul>	自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	B	R6		R7		<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシやおたよりの配布、ホームページ・Instagramなどの活用により、子育て世帯に地域子育て支援センターの存在や事業内容を知ってもらえるよう情報提供を継続していく。育児講座については、親子で参加しやすく楽しめる新しい内容を取り入れていき、利用者の増加につなげたい。また、利用者同士が交流したり、気軽に相談ができるような雰囲気作りを心がけていきたい。</li> <li>・利用者支援では、教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう情報提供を行い、利用にあたっての不安などに対し、丁寧に聞き取りを行うなど、きめ細やかな支援体制を継続していく。</li> </ul>		
		No.	事業名																				
33	多様な保育サービスの充実																						
自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																				
	R4	C																					
	R5	B																					
	R6																						
	R7																						
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業(一般型)…子育て家庭への交流の場の提供と交流の促進、地域の子育て情報の提供や育児講座の実施、育児相談への対応等を行う。</li> <li>・子育て相談事業…子育て相談、園庭開放等</li> <li>・利用者支援事業…子ども・子育て相談支援員を配置し、きめ細やかな支援を行う。</li> </ul> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>地域での人間関係の希薄化や、子育ての孤立化は深刻な状況であり、子育て不安は高まっている。こうした状況を改善するため、支援体制の充実を図る。親子を、また親同士を「つなぐ」という取組みが重要になってきており、地域ぐるみで子育てを進めていくことが大切であると考えている。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターの利用者数の維持又は増加を目指す。</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標 待機児童数:0人</p>	<table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>488,265</td> <td>41,583</td> <td>42,028</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 保育幼稚園課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		488,265	41,583	42,028			<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	488,265	41,583	42,028																				
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)		
3	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>第2層協議体のモデル地区として、現在定例的な会としては、旭地区のみである。他地区では、既に市社協が取組を進めている「ほおつちよけんネットワーク会議」や地域内連携協議会等の協議体が存在しており、それらを第2層協議体として共同開催するなど、既存の協議体を活用することで住民の負担を出来る限り減らしつつ、地域課題について協議する機会を作るよう働きかけている。</p> <p>また、令和2年度からは、新型コロナウイルス感染拡大により住民の話し合いの場が自粛されたこともあり、なかなか集まる機会を持てなかったが、リモートによる会議を試行的に実施するなど、コロナ禍の中でも話し合いの機会がとれるような工夫をしてきた。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>令和5年度は、各地区にて年間90回の協議の場へ参画することが出来、地域課題から課題解決に向けた話し合いがされた地域もあった。各地域の住民ニーズに対応した住民主体による運営である訪問型及び通所型サービスB事業も創設され、令和5年度は、モデル地区の1箇所に加え、新規に訪問と通所併設型2箇所と訪問型2箇所が立ち上がり運営開始している。</p> <p>第2層協議体開催及び事業実施回数 R3:35 R4:92 R5:90 計217回開催。活動目標に到達できなかった要因として、新型コロナウイルス感染拡大により住民同士の話し合いの場が自粛されていたことも大きく影響している。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>これまで地域包括支援センター職員が兼務していた生活支援コーディネーターを令和5年4月～令和6年3月にかけて専従の第2層コーディネーターとして配置することとなり、令和6年度は、人材育成も強化して取り組んでいく予定。</p> <p>また、市社協のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)と、それぞれの役割を整理し、協働しながら生活支援体制整備事業として第2層協議体の設置や開催ができるよう進める。</p>			
		34	生活支援サービスの充実						
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう	育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	◆ <b>事業(概要)</b>		<p>各種高齢者支援事業から見てきた地域課題について、地域住民や関係機関と話し合う場(第2層協議体)を創設する。</p> <p>住民主体の地域課題解決のための仕組みづくりを目指す。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>令和5年度は、各地区にて年間90回の協議の場へ参画することが出来、地域課題から課題解決に向けた話し合いがされた地域もあった。各地域の住民ニーズに対応した住民主体による運営である訪問型及び通所型サービスB事業も創設され、令和5年度は、モデル地区の1箇所に加え、新規に訪問と通所併設型2箇所と訪問型2箇所が立ち上がり運営開始している。</p> <p>第2層協議体開催及び事業実施回数 R3:35 R4:92 R5:90 計217回開催。活動目標に到達できなかった要因として、新型コロナウイルス感染拡大により住民同士の話し合いの場が自粛されていたことも大きく影響している。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>これまで地域包括支援センター職員が兼務していた生活支援コーディネーターを令和5年4月～令和6年3月にかけて専従の第2層コーディネーターとして配置することとなり、令和6年度は、人材育成も強化して取り組んでいく予定。</p> <p>また、市社協のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)と、それぞれの役割を整理し、協働しながら生活支援体制整備事業として第2層協議体の設置や開催ができるよう進める。</p>			
		◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>					<p>既存の地域の集いは、女性の参加者がほとんどであることから、男性でも参加できる、集いの場や地域の課題解決活動の創出を目指し、第2層協議体の活動を支援する。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>令和5年度は、各地区にて年間90回の協議の場へ参画することが出来、地域課題から課題解決に向けた話し合いがされた地域もあった。各地域の住民ニーズに対応した住民主体による運営である訪問型及び通所型サービスB事業も創設され、令和5年度は、モデル地区の1箇所に加え、新規に訪問と通所併設型2箇所と訪問型2箇所が立ち上がり運営開始している。</p> <p>第2層協議体開催及び事業実施回数 R3:35 R4:92 R5:90 計217回開催。活動目標に到達できなかった要因として、新型コロナウイルス感染拡大により住民同士の話し合いの場が自粛されていたことも大きく影響している。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>これまで地域包括支援センター職員が兼務していた生活支援コーディネーターを令和5年4月～令和6年3月にかけて専従の第2層コーディネーターとして配置することとなり、令和6年度は、人材育成も強化して取り組んでいく予定。</p> <p>また、市社協のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)と、それぞれの役割を整理し、協働しながら生活支援体制整備事業として第2層協議体の設置や開催ができるよう進める。</p>
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	◆ <b>推進委員会の点検項目</b>	◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>
			291	279	589			<p>◆<b>必要性</b></p> <p>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p>	【特に良かった点等】
		◆ <b>活動指標(目標)</b>	担当課 基幹型地域包括支援センター					<p>◆<b>効率性</b></p> <p>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p>	【課題等】
		第2層協議体の開催及び事業実施回数 252回(令和3～5年度の3年間累計回数)	写真等					<p>◆<b>有効性</b></p> <p>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p>	
		(参考)関連する数値目標						<p>◆<b>工夫・配慮</b></p> <p>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	
		社会資源「集いの場」状況:705以上							

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)							
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	<p>No. 事業名</p> <p>35 高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上</p>	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>・県内の工業系高校や大学に具体的な業務内容、勤務条件に福利厚生制度等を加えた職場の魅力を積極的に広報し、インターンシップ生として学生を受け入れた。また、仕事内容について具体的にイメージできるよう、採用ガイドブックに先輩職員の声に掲載した。</p>	<p>◆<b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>住民の多様なニーズに対応するため、従来より女性職員の割合が低い技術職においては、女性の人材確保が特に重要である。そのため、引き続き工業系高校や大学の学生をインターンシップ生として積極的に受け入れ、具体的な業務内容や福利厚生について情報提供を行っていく。また、女性職員が仕事と家庭を両立し、その能力を十分に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりのための取組を継続して行っていく。</p>								
		<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>女性職員が働きやすい職場環境の整備、高知市特定事業主行動計画に基づく技術系職員の女性の採用者数の拡大の取り組み等を実施し、高知市職員における技術職に占める女性の割合の向上を図る。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。</p>	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>○令和5年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職受験者に占める女性の割合: 15.8%</li> <li>・技術職採用者に占める女性の割合: 20.0%</li> </ul> <p>・インターンシップ生として受け入れることで、学生等が具体的に仕事の内容をイメージすることができた。</p> <p>・制度等の周知により、職員が個々に必要な制度等の利用を検討することができた。</p>	<p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>								
<p>決算額 (千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7	0	0	0			<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p>	<p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p>
R3	R4	R5	R6	R7								
0	0	0										
<p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>インターンシップの受入れ、県内の高校・大学等での具体的な業務内容や福利厚生事業の説明等、採用後のイメージを持ちやすいような職場案内を積極的に行っていく。</p>	<p>担当課</p> <p>人事課</p>	<p>【課題等】</p>										
<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市職員の技術職に占める女性の割合: 15%以上</p>	<p>写真等</p>											

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	<p>No. 事業名</p> <p>36 ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・令和4年度から引き続き、来所電話相談の他、LINE相談を実施している。開設時間内に相談できない場合や、来所電話相談を希望しない相談者についても、個々の相談者に応じた支援を実施している。</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>C</td></tr> <tr><td>R4</td><td>B</td></tr> <tr><td>R5</td><td>C</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td></tr> <tr><td>R7</td><td></td></tr> </table> <p>評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</p>	R3	C	R4	B	R5	C	R6		R7		<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>・定期的な広報誌への掲載や、関係機関にチラシを配付するなど、引き続き周知に務める。</p> <p>・LINEやオンライン相談、いろいろな専門家相談等を生かしながら、相談者個々に応じた状況に対応し、自立に向けた適切な支援に繋げていく。</p> <p>・令和6年度から、相談管理システムが稼働。より効率的に、相談者間での相談内容の把握や進捗管理等を行い、さらに相談者に寄り添った対応を行っていく。</p> <p>・公式ホームページについて、より利用しやすくするため、令和6年度に改修を予定している。</p> <p>・就職実績を増やすことができるように、高知家の女性しごと応援室やハローワーク等と連携をとるとともに、就職の関するセミナーや就業につながる講習会を実施する予定をしている。</p>								
		R3	C																				
R4	B																						
R5	C																						
R6																							
R7																							
<p>◆事業(概要)</p> <p>ひとり親家庭の幅広い相談内容に対して必要な情報提供や助言等を行う相談業務を行う。子育て給付課に母子・父子自立支援員2名を配置し開庁日は常時相談を受け付けている。</p> <p>就業相談は、県共同で「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」をNPO法人に委託し、就業情報の提供、就業のための各種資格や技能取得のための制度案内、保育所等に関する情報提供を実施している。ほかに、弁護士や司法書士の専門相談員による課題整理も行い自立を支援している。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>従前は母子及び寡婦家庭中心の支援であったが、近年は支援の対象を父子家庭も含めたひとり親家庭全般とし、様々な悩みに適切な助言を与えることで生活の安定を図り、就業相談の内容を充実させることによって経済的な自立を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・ひとり親家庭支援センターにおける就職率が目標値の60%を超えるよう、効果的な就労支援を行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>・弁護士や司法書士だけではなく、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようにしている。</p> <p>・弁護士や司法書士だけではなく、心理カウンセラー、キャリアコンサルタント、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーの専門家相談を行い、様々な相談ができるようにしている。</p> <p>・相談者が複数の課題を抱えている場合もあり、より円滑に相談対応を行うため、相談記録をデータベース化、情報を一元管理する相談管理システムを構築した。(令和6年度から稼働)</p> <table border="1"> <tr><td>決算額(千円)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td></td><td>5,300</td><td>6,154</td><td>8,573</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>担当課 子育て給付課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,300	6,154	8,573			<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・令和5年度の相談件数は、1,721件(LINE相談588件を含む)であり、前年度(1,835件)からやや減少した。</p> <p>・LINE相談件数は全体相談数の約34%を占めており、相談者からのニーズは増加傾向である。(令和4年度約29%)</p> <p>・専門家相談を実施することにより、より専門的な相談内容に対応できており、相談者の不安解消につながっている。</p> <p>・センター利用者の満足度については、95%を超えており、相談者に寄り添って対応できている。(相談利用者アンケートより)</p> <p>・ひとり親家庭支援センターにおける就職率40.0%(就職者17人/求職者43人)</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr><td>必要性</td><td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td></tr> <tr><td>工夫・配慮</td><td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td></tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	5,300	6,154	8,573																				
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						

基本目標		取組の方向性		Plan(計画)	Do(実施)						Check(点検)			Action(見直し)
3	ウ	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 参加者は、就職につなげられるように、企業側の人材登用ニーズを踏まえたセミナーのテーマ設定等を検討した。 求職者側と求人側の双方のニーズをマッチングさせるため、セミナーや合同面接会等への参加者のうち希望者を高知市無料職業紹介所の登録につなげ、継続的な支援を行った。	R3 R4 R5 R6 R7	B C B	評価基準			A: 目標達成 B: 概ね達成 C: 少し下回った D: 大きく下回った	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 令和6年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業を令和4年10月からの再受託した事業(接客・販売力向上セミナー・面談会等)を実施し、目標値の達成を図る。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を実施するなど根気強くサポートを続けていく。			
		37	雇用促進・就労支援				<b>◆事業(概要)</b> 地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー・面談会等を開催し、女性やシニア世代を含む求職者の就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。	<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 参加者数: 130人 就職者数: 106人 (内訳) ①地域雇用活性化推進事業 参加者数 130人(うち就職者数 50人) ②高知市無料職業紹介所 就職者数 56人						
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	<b>◆事業(概要)</b> 地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー・面談会等を開催し、女性やシニア世代を含む求職者の就職につなげる。 また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 女性やシニア世代を含むさまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。	決算額(千円) R3: 14,978 R4: 17,138 R5: 10,181 R6: R7:	<b>◆推進委員会の点検項目</b> 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。			<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】					
		<b>◆活動指標(目標)</b> ・雇用活性化推進事業による就職支援のセミナーの参加者数、セミナー受講後の就職者数(高知市無料職業紹介所による就職者を含む。) 参加者: 160人 就職者数: 39人		担当課 産業政策課	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	【課題等】							
<b>(参考)関連する数値目標</b> —		写真等 	工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。											

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)															
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	<p>No. 38 事業名 女性消防吏員増加に向けた取組み</p> <p>◆事業(概要) 女性消防吏員の増加に向け、女性消防吏員を起用した広報に取り組むとともに、採用説明会等への現役の女性消防吏員の派遣によりその存在を印象付け、消防職員採用試験や女性受験者数の増加を図る。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 警察・自衛隊・海保など公安職の中では消防職が女性職員の比率が最も低いため、総務省消防庁から「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について(平成27年消防庁次長通知)」による女性消防吏員の活躍推進のための積極的な取組の要請があった。市としても、多様な視点・経験を有する職員による対応能力・市民サービスの向上につなげ、さらなる組織の活性化・強化のため、女性消防吏員の増加を目指すとともに、女性の職域拡大により、女性の活躍推進を図る。</p> <p>◆活動指標(目標) ・消防局で実施するイベントや就職説明会、防災訓練等に女性吏員を積極的に派遣し、より多くの市民に女性消防吏員の存在を知ってもらう。 ・女性消防吏員及びその働き方をアピールする内容の広報物を作成し、広報活動に活用する。</p> <p>(参考)関連する数値目標 —</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・市広報紙「あかいまち」に、「高知市で活躍する女性消防士」という特集記事で、女性消防吏員の広報を行った。 ・消防職を目指したきっかけ、女性消防吏員としての目標及び仕事をする上で心掛けていることなど、女性目線の記事を発信した。 ・消防局公式のSNSに写真や動画を投稿する際に、女性消防吏員にも登場してもらっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》 ・市広報紙及びSNSを活用して、女性消防吏員が活躍している姿を掲載することにより、女性も活躍することのできる職場環境であることを広報できたのではないかと考える。 ・令和5年度は、採用説明会等へ女性消防吏員を業務の都合上、派遣することができなかった。</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》 ・採用説明会等へ引き続き積極的に参加するとともに、本市女性消防吏員に対し事前に説明会の日程を周知し、参加を依頼する。 ・前年同様、SNSを活用した消防広報にも男性消防吏員と活動を共にする女性消防吏員などを投稿することで、女性も活躍することができる職場であること及び消防職の魅力を周知する。</p>			
		自課評価	R3	B		評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)														
R4	B																			
R5	B																			
R6																				
R7																				
<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 消防局総務課</p> <p>写真等</p> 	R3	R4	R5	R6	R7	0	0	0			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
R3	R4	R5	R6	R7																
0	0	0																		
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																			
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																			
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																			
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																					
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	女性活躍の推進	<p>No. 39 女性のための就業支援事業</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>・就労支援講座 職場で活用するさまざまなスキルを身に付ける講座を実施し、女性の就労を支援する。 ワード・エクセル超基礎講座 エクセル検定講座 その他就労支援講座</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・就労支援パソコン講座 ①超基礎Word講座, 実施日:7月2日, 参加者:15名 ②超基礎Excel講座, 実施日:7月9日, 参加者:15名 ③検定対策Excel講座, 実施日:7月23日, 29日, 30日, 参加者:14名</p> <p>・就労支援講座「プロに学ぶ!『セルフプロデュース』」, 実施日:10月1日, 参加者15名(オンライン併用)</p>	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>・就労支援パソコン講座修了者の就業状況についてのアンケートを実施。 ・職場で活用できるスキルの習得を目的とした就労支援講座をオンライン併用で実施し、参加者の拡大を図る。 ・効果的な広報を実施し、講座の周知を図る。</p>																						
		<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>561</td> <td>592</td> <td>826</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・就労支援講座 就労支援パソコン講座 実施回数 3回 参加者数 各15名 ・就労支援講座 実施回数1回 参加者数 20名</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		561	592	826			<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>パソコン講座は検定対策講座を新たに追加し、就労に活かしてもらえる実務的な内容となった。また、セルフプロデュースの講座では対面ワークを取り入れ、就職面接や人との交流時に活かせる講話力や自分の魅力を引き出して見せる自己演出スキルについて学び、就労に役立つ学びを提供できた。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6	
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																					
	561	592	826																							
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																							
	R4	B																								
	R5	B																								
	R6																									
	R7																									



基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
地域で、防災で、地域活動における女性の参画をすすめてまいらう	ア	<table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> </tr> <tr> <td>40</td> <td>地域コミュニティ再構築事業</td> </tr> </table>	No.	事業名	40	地域コミュニティ再構築事業	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>地域共生社会推進本部防災福祉部会のネットワークを活かし、地域状況(ヒト、モノ、コト)の把握に努め、未設立地域におけるまちづくりのキーパーソンへの接触を行った結果、R5年度には泉野小学校区で設立に繋がった。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	B	R6		R7		<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>【地域内連携協議会】地域内連携協議会の未設立地域である春野地域(2小学校区)での設立に向け、地域の各種団体の会議に積極的に参加し、地域活動の状況及びキーパーソンの把握に努める。</p>		
		No.	事業名																				
40	地域コミュニティ再構築事業																						
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																				
	R4	C																					
	R5	B																					
	R6																						
	R7																						
<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>伝統的な地縁組織などが家族構成の変化や少子化・高齢化、また人口減少社会の到来などによって、将来的な住民自治活動の継続が懸念される中で、今後の地域コミュニティのあり方、協力信頼による住民自治の継続、市民と行政の協働のまちづくりの仕組みづくりを目指すもの。</p> <p>なお、主な事業として、地域内での連携・協力によって地域課題の解決を目指す仕組みである「地域内連携協議会」の設立・運営に関する支援や地域の将来を見据えた「新コミュニティ計画」の策定・推進がある。</p> <p>◆<b>男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>住民自治活動や市民と行政の協働のまちづくりを進めるうえで、女性の参画により、多様な市民の意見を反映させることができる。</p> <p>◆<b>活動指標(目標)</b></p> <p>地域内連携協議会の認定(のべ数):33地域(34小学校区)</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>【地域内連携協議会】地域内の団体が互いに連携・協力しあえる仕組みを構築している。</p> <p>【新コミュニティ計画】地域主体の取組が多く盛り込まれ、地域の活動計画として役割を果たすものとなっている。</p> <p>引き続き、女性の参画による多様な市民の意見を反映できるように、地域の状況に沿った支援を行っていく。</p> <table border="1"> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td></td> <td>5,044</td> <td>7,448</td> <td>12,052</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 地域コミュニティ推進課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		5,044	7,448	12,052			<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>【地域内連携協議会】R5年度には泉野小学校区で設立。これにより、のべ30地域(31小学校区)で認定。</p> <p>【新コミュニティ計画】新たに第六小学校区及び潮江東小学校区でそれぞれ第1期計画を策定した。</p> <p>◆<b>推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>【新コミュニティ計画】R6年度以降の策定を目指し江ノ口小学校地域でR5年度にまちづくりに関する地域住民へのアンケートを実施。策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるよう努める。</p> <p>今後も地域内連携協議会及びコミュニティ計画推進市民会議の総会や定例会へ継続的に参加し、地域活動に積極的な若年層及び女性の人材の発掘等に努め、事業の承継や多様な視点での住民自治を推進する。</p> <p>◆<b>推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	5,044	7,448	12,052																				
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																	
4	ア	No.	事業名	◆ <b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b>		<table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>D</td> <td rowspan="5">                     評価基準                      A:目標達成(100%以上)                      B:概ね達成(80~100%未満)                      C:少し下回った(60~80%未満)                      D:大きく下回った(60%未満)                 </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table>	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	D	R6		R7		◆ <b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b>				
		R3		D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																	
R4	C																					
R5	D																					
R6																						
R7																						
41	スポーツ指導者の育成	◆ <b>事業《概要》</b> 地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るため、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。  ◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。  ◆ <b>活動指標(目標)</b> スポーツ指導員認定更新講習会を年4回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。  (参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b> 更新講習を計10回行ったものの、受講者は対象者全体の約半数と目標を大きく下回った。コロナ禍によりスポーツ指導員としての活動幅が減少し、指導員同士の交流も希薄化したことが要因として考えられる。  ◆ <b>推進委員会の点検項目</b> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	・コロナ禍以前まで実施していた行事等を随時再開していき、指導員同士の交流の機会を創出する。 ・講習受講者がより参加しやすいカリキュラムについて検討する。										
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																					
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																					
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																					
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																					
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	地域活動における女性の参画の促進	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>346</td> <td>218</td> <td>361</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">スポーツ振興課</td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		346	218	361			担当課	スポーツ振興課					◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>	◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																	
	346	218	361																			
担当課	スポーツ振興課																					
					【特に良かった点等】  【課題等】																	

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)				
地域で、防災で、男女共同参画をすすめる女性 地域活動における女性の参画の促進 写真等	4	ア	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>令和5年度中に、トイレ等、女性団員に配慮した構造を備えた一宮分団屯所として、現在の場所からの移転新築を目指していたが、進捗がなかった。</p> <p>令和5年度は、女性のみで構成される高知市消防団本部分団を中心に、積極的に他の自治体分団と交流を図った。</p> <p>その他、団本部分団の取組として、救命講習を通じて、保育園や自主防災組織の訓練に積極的に参加することができた。</p>					自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>一宮分団屯所の予算計上後、スムーズに工事にすすめるよう調整を図る。</p> <p>他の自治体分団と意見交換会を実施できた。得られた意見をどのように自分達の活動に活かすかを考える。</p> <p>救命講習を通じて地域防災活動への参画を果たすことができた。地域の多様なニーズに女性団員として何が出来るか考え、実践していく必要がある。 (女性団員は58人在籍※R6.1時点)</p>	
	42	消防団の充実強化	<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>消防団員の定数確保とともに、地域の防災拠点としての機能を併せ持つ消防分団屯所の整備を図り、消防団が地域防災の中核的な役割を担えるよう、体制強化に取り組む。</p>					R4	B		R5	C		<p>◆<b>検証《達成状況、その要因》</b></p> <p>団本部分団が、南国市消防団の女性団員と、お互いの取組みについて意見交換を行うことができた。</p> <p>団本部分団について、救命講習を通じて計6回、地域防災活動訓練へ参加することができた。</p>	
◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>			事業の実施により、消防団の役割や必要性の周知を図るとともに、男女共同参画を推進し、地域防災における女性の参画の促進をすすめる。		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	◆ <b>推進委員会の点検項目</b>		◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>		
◆ <b>活動指標(目標)</b>			活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。		-	0	0				必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	【特に良かった点等】		
(参考)関連する数値目標			高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上		担当課	消防局総務課				効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】			
◆ <b>活動指標(目標)</b>			活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。		写真等					有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
◆ <b>活動指標(目標)</b>			活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。		写真等					工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
4	ア	No. 事業名	◆ <b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 男女共同参画の視点を持ちながら、女性が個々に持つ能力を十分発揮し、課題に対応できる能力を身につけることを目的とする講座を開催した。 財団の自主事業である休眠預金活用事業として実施。	◆ <b>対応《改善、今後どのようにするか》</b> 休眠預金活用事業により実施(オンデマンド配信併用)。	
		43 エンパワメント事業  ◆ <b>事業(概要)</b> ・エンパワメント講座 自己肯定感を高め、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。  ※休眠預金活用事業(助成金)により実施  ◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。  ◆ <b>活動指標(目標)</b> ・エンパワメント講座 参加者数20名  (参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上	自課評価 R3 D R4 A R5 A R6 R7 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)  ◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b> 気持ち(心)と動き(体)を変化させ、行動に移していくことで自身を育てるきっかけをみつけてもらうことにつながった。	内容:「ジャーナリストに学ぶ言語化力 ジェンダー視点のアプローチ」 日時:8月18日(日)13:30~15:30 対象:女性30名  ※休眠預金活用事業は、休眠預金等交付金にかかる資金を活用した事業として内閣府が認可した団体(一般社団法人日本民間公益活動連携機構)が資金を助成し、公募による採択団体が実行する。	
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	地域活動における女性の参画の促進	決算額(千円) R3 290 R4 191 R5 26 R6 R7  担当課 ソーレ  写真等(講座のチラシと様子) 			

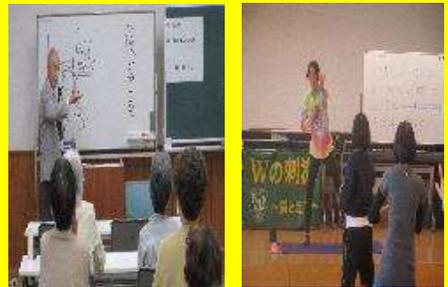
基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)								
地域で、防災分野における女性の参画の促進をすすめてみましょう	4	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市男女共同参画推進本部部局推進委員会の活動において、2種類の啓発物を作成した。</li> <li>・啓発物の作成にあたっては、誰もが当事者として考えることができるよう、避難所や防災備蓄品に関するジェンダー平等をテーマとした。</li> <li>・作成した啓発物を高知市総合防災訓練等でパネル展示・チラシ配布し啓発を行った。</li> </ul>					自課評価	R3		評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	◆ <b>対応《改善, 今後どのようにするか》</b>	・作成した啓発物をSNSやパネル展示等で活用し、啓発を継続する。				
	44	防災分野におけるジェンダー平等の啓発	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>		A	<p>◆<b>検証《達成状況, その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市総合防災訓練では、「それぞれの立場での困り事が分かりやすい」といった声があり市民の方に防災分野におけるジェンダー平等について知ってもらいいい機会になった。</li> <li>・部局推進委員会の活動後のアンケートでは、参加した職員からも気づきがあった等との意見があり、職員に対する啓発にもなった。</li> </ul>							
	◆ <b>事業(概要)</b> 防災分野におけるジェンダー平等の啓発を実施する。		担当課	人権同和・男女共同参画課												◆ <b>推進委員会の点検項目</b>	◆ <b>必要性</b>	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆ <b>推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】
	◆ <b>男女共同参画の視点</b> 災害時におけるジェンダーへの視点からの取組の重要性への理解を深め、ジェンダー平等を推進することで、子どもや高齢者・障がい者・LGBTQ+の方等多様な方への配慮にも寄与する。		写真等														◆ <b>効率性</b>	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
◆ <b>活動指標(目標)</b> ・防災分野におけるジェンダー平等の啓発ツール(チラシ、動画等)の作成		有効性						◆ <b>有効性</b>		・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。			【課題等】						
(参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上		工夫・配慮						◆ <b>工夫・配慮</b>	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。										

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてまいろう	<p>4 イ No. 事業名</p> <p>45 避難所運営体制の整備</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>大規模災害発生時に避難者が避難所を自主運営できるよう、避難所ごとに「避難所運営マニュアル」を作成する。 また、マニュアルを用いた避難所開設・運営訓練を実施し、マニュアルの効果検証を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>・避難所の運営マニュアル作成時に男女共同参画の視点を導入する。 ・避難所開設訓練で男女共同参画の視点を導入する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>男女共同参画の視点を導入した避難所運営マニュアルの作成施設数の増加(令和5年度目標:22施設)</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>・各施設の避難所運営マニュアルのベースとなるテンプレートに、避難所運営体制を確立する際は多様な視点が運営に反映されるよう、女性もメンバーに入ってもらうことを明記し、どの施設の避難所運営マニュアルにも男女共同参画の視点が盛り込まれるようにした。</p> <p>・マニュアル作成の際には、避難所のある地域の自主防災組織と意見交換を行い、実際に地域住民がマニュアルに沿った運営ができるものとなるよう配慮した。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>・令和5年度に作成を予定していた施設のマニュアルは、概ね作成が完了した。(令和5年度目標22施設, 実績:20施設)</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	B	R6		R7		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>・マニュアルへは、避難所運営について、女性に限らず障がい者等、多様な視点が運営に反映されるよう記載している。また、マニュアル検討会や訓練時には、性別や身体の特性によって限られた役割をあてることのないよう、男性のみならず、女性や若い世代等、多様な意見を反映できるよう取り組んでいるため、今後も取組を継続する。</p>
		自課評価	R3		B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)										
R4	A															
R5	B															
R6																
R7																
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>419</td> <td>1,513</td> <td>899</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 地域防災推進課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		419	1,513	899			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>		
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7											
	419	1,513	899													

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)				
地域で、防災分野における女性の参画の促進をすすめてまいりましょう	4	イ	No.	事業名	<p>◆<b>具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>令和5年度は、地震や気象災害、災害時の心のケアや、自主防災活動・地区防災計画における男女共同参画を始めとする多様性の視点などについて取り上げた。</p> <p>また、高知市会場において視覚障害を持つ受講生に対して、教本や講座資料をテキストデータに打ち換えて提供するなどの個別対応を行った。</p> <p>令和5年度は定員を160人として、5月8日から6月9日の間で募集を行い、高知市会場については、定員に達したため、5月23日に受付を終了した。</p> <p>サテライト会場については、令和5年度からはリアルタイム配信ではなく、各会場において高知市会場の講義を録画したDVDを上映するよう運営方法を変更した。</p> <p>託児サービス・手話サービスを予定していたが、希望者が居なかった。</p>					自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<p>◆<b>対応《改善、今後どのようにするか》</b></p> <p>防災人づくり塾のサテライト会場の運営を継続することで、さらに多くの圏域住民が防災に関する知識を身につけ、圏域全体の防災力向上が図られるよう取り組んでいく。</p> <p>サテライト会場の運営に関しては参加者や圏域市町村からの要望等を踏まえて内容を改善していく。</p> <p>令和5年度からはリアルタイム配信ではなく、各会場において高知市会場の講義を録画したDVDを上映するよう運営方法を変更したが、DVDの音声聞き取りにくいとの声があったため、業務委託の仕様を見直す。</p> <p>引き続き、託児サービスを行うなど、幅広い住民に参加してもらうための運営の検討を行うとともに、防災における男女共同参画の視点に関する講座等を行い、受講者に啓発をしていく。</p>	
	46	れんけいこうち防災人づくり塾	<p>◆<b>事業(概要)</b></p> <p>地震や風水害などの大規模災害に備えて、地域で防災活動に取り組む防災リーダーの育成を目的に、地域の方々に、防災に関する様々な知識を身につけてもらうため、各専門分野の講師による全8回の講座「れんけいこうち防災人づくり塾」を実施する。</p>					◆ <b>検証《達成状況, その要因》</b>	R4		A	◆ <b>検証委員会からの点検項目</b>		◆ <b>推進委員会から点検コメント</b>	
	◆ <b>男女共同参画の視点からの目的</b>		<p>事業の実施により、年齢・性別を問わず幅広い住民が交流を深め、地域で連携し、地域の防災力向上を図る。</p>					◆ <b>推進委員会の点検項目</b>	R5		A	◆ <b>必要</b>		【特に良かった点等】	
	◆ <b>活動指標(目標)</b>		<p>事業の実施により、年齢・性別を問わず幅広い住民が交流を深め、地域で連携し、地域の防災力向上を図る。</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		◆ <b>効率性</b>	◆ <b>有効性</b>		【課題等】	
◆ <b>活動指標(目標)</b>		<p>・れんけいこうち防災人づくり塾 令和5年度 全8回開催</p> <p>・受講者に、防災における男女共同参画の視点の啓発を行う。</p>	担当課	防災政策課					◆ <b>工夫・配慮</b>	◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>				
◆ <b>活動指標(目標)</b>		<p>・れんけいこうち防災人づくり塾 令和5年度 全8回開催</p> <p>・受講者に、防災における男女共同参画の視点の啓発を行う。</p>	写真等							◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>			
◆ <b>活動指標(目標)</b>		<p>・れんけいこうち防災人づくり塾 令和5年度 全8回開催</p> <p>・受講者に、防災における男女共同参画の視点の啓発を行う。</p>	◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		<p>防災士認定登録者に占める女性の割合: 50%以上</p>					◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>			
◆ <b>活動指標(目標)</b>		<p>・れんけいこうち防災人づくり塾 令和5年度 全8回開催</p> <p>・受講者に、防災における男女共同参画の視点の啓発を行う。</p>	◆ <b>(参考)関連する数値目標</b>		<p>防災士認定登録者に占める女性の割合: 50%以上</p>					◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>	◆ <b>必要</b>			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)											
地域で、防災で、男女共同参画をすすめてみましょう	No. 47 事業名 人材育成事業(女性防災プロジェクト) <b>◆事業(概要)</b> ・女性防災プロジェクト ※休眠預金活用事業(助成金)により実施 (1)女性防災リーダー養成推進講座(ソーレ・県西部の二会場) (2)被災地訪問(東北地方) (3)地域連携フォーラム(県西部) (4)地域活動推進(修了生支援等) (5)防災教室等 <b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。 <b>◆活動指標(目標)</b> ・女性防災リーダー養成推進講座の実施による修了生の育成(30人※ソーレ15人) ・修了生による情報発信及び交流活動の実施 ・修了生への地域活動に向けた支援の実施 <b>(参考)関連する数値目標</b> 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・女性防災リーダー養成推進講座 男女共同参画の視点による災害対応の取組や復興支援策が各地域で実践されている状況を創出することに加え、講座受講生から女性リーダーとなった者が被災後の復興に向けた議論にも参画していくことを目的とする講座を開催した。 ①ソーレ会場 実施日:6月10日, 7月8日, 10月7日, 参加者延べ44名, ②四万十市会場 実施日:7月23日, 8月20日, 11月19日, 参加者延べ44名 ・女性防災リーダー養成推進講座(被災地訪問) 実施日:9月8日~9月10日, 参加者29名 ・地域連携フォーラム(四万十市会場) 防災・減災にかかる女性リーダーの必要性及び女性防災プロジェクト事業について、地域の理解促進・連携強化を図ることを目的に実施。被災地から講師を招聘しての講演会と地元防災グループの女性、女性防災プロジェクト修了生、行政等が参加するパネルディスカッションを実施した。 実施日:12月3日, 参加者22名 ・防災教室 実施日:5月28日, 参加者33名	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <b>◆検証《達成状況, その要因》</b> ・女性防災プロジェクト:講座修了生30名をこうち女性防災リーダーとして登録。 ・講座修了生の資金面での活動支援メニューとして「女性防災プロジェクト 防災・減災アクションプラン実施事業」を創設(令和6年3月)。また、活動する際のピブス・キャップ・のぼり旗等を作成。	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	A	R5	A	R6		R7		<b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b> 休眠預金活用事業により実施。 ・女性防災プロジェクト:高知市及び安芸市で連続講座(5回)を実施, うち1回は東北地方への被災地視察を行う。 ・講座修了生の地域活動に対する継続的な支援 「女性防災プロジェクト防災・減災アクションプラン実施事業」実施による資金面での支援。 ・ソーレ!防災フェスタの開催 「女性防災プロジェクト」の修了生による地域活動の支援」及び「地域における防災分野の取組への女性の参画」を促進するため、防災をテーマとする啓発や知識経験等の共有、展示等を実施する防災減災啓発イベントを開催する。 実施日:12月1日 10時~16時
		自課評価	R3		A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)										
R4	A															
R5	A															
R6																
R7																
<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16</td> <td>553</td> <td>5,539</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 担当課 ソーレ 写真等(左:被災地視察 右下:講座第2回フィールドワークの様子) 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		16	553	5,539						
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7											
	16	553	5,539													

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																																																										
生涯にわたる健康生活を充実させましよう	ア	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="197 287 257 470">No.</td> <td data-bbox="257 287 631 470">事業名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="197 470 257 758">48</td> <td data-bbox="257 470 631 758">さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 758 631 798"><b>◆事業(概要)</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 798 631 845">・いきいき百歳体操, かみかみ百歳体操, しやしき百歳体操の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 845 631 893">・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 893 631 941">・いきいき百歳サポーター育成教室の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 941 631 981"><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 981 631 1077">介護予防活動への住民参画を促進することで, より活動的な生活となり, 住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。 既存のいきいき百歳体操等の集いに, 体操会場の人間関係を通じ, 男性の参加を促す。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 1077 631 1117"><b>◆活動指標(目標)</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 1117 631 1165">・いきいき百歳体操参加者数9,000人/年</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 1165 631 1212">・いきいき百歳サポーター新規育成数120人/年</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 1212 631 1252"><b>(参考)関連する数値目標</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="197 1252 631 1487">健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.27年 女性21.77年</td> </tr> </table>	No.	事業名	48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	<b>◆事業(概要)</b>		・いきいき百歳体操, かみかみ百歳体操, しやしき百歳体操の実施		・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施		・いきいき百歳サポーター育成教室の実施		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>		介護予防活動への住民参画を促進することで, より活動的な生活となり, 住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。 既存のいきいき百歳体操等の集いに, 体操会場の人間関係を通じ, 男性の参加を促す。		<b>◆活動指標(目標)</b>		・いきいき百歳体操参加者数9,000人/年		・いきいき百歳サポーター新規育成数120人/年		<b>(参考)関連する数値目標</b>		健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.27年 女性21.77年		<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <p>お世話役や参加者の高齢化問題に加え, 新型コロナウイルス感染拡大による外出制限や体操会場の休止を余儀なくされたことにより, 活動が低迷してきており, 会場の継続支援を重点的に取り組んでいく必要があり, 地域のどこで体操が行われているか市民に分かりやすいよう目印としてのぼり旗を製作し, 希望会場から順次配布している。</p> <p>体操参加者の高齢化により虚弱な方や認知症の人の参加もあり, サポーターフォローアップ研修では認知症サポーター養成講座やフレイル予防について講義内容に追加して行っている。</p> <p>NPO法人いきいき百歳応援団と連携し, 課題や取組状況を把握するため体操会場の訪問調査, いきいき百歳新聞を年2回発行して情報発信している。</p> <p>また, 身体機能の維持・向上, 社会参加機会を確保し, 自立した生活が送れるよう, 訪問型サービスC事業を活用した会場等へのつなぎ支援を継続している。</p> <table border="1" data-bbox="640 949 1115 1029"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31,638</td> <td>28,854</td> <td>28,060</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 基幹型地域包括支援センター</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		31,638	28,854	28,060			<table border="1" data-bbox="1133 287 1655 470"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>◆検証《達成状況, その要因》</b></p> <p>令和5年度末で, いきいき百歳体操会場349会場, かみかみ百歳体操会場333会場, しやしき百歳体操会場252会場となっている。新規立ち上げの会場もあるが, 新型コロナ感染症拡大以降, 廃止会場が上回る状況が続いており体操会場が減少傾向にある。</p> <p>いきいき百歳体操参加者数: 6,126人(R5.7.1調査時)</p> <p>住民主体の活動として継続できる支援を強化するため, インストラクター派遣や住民ボランティアの育成にも取り組んでいる。</p> <p>住民ボランティアであるいきいき百歳体操サポーターを令和5年度45人を養成, 延べ1,584人(R6.3末)となっている。</p> <p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1" data-bbox="1133 981 1655 1487"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	C	R5	C	R6		R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>いきいき百歳体操は, 住民主体の介護予防活動として20年以上継続しており, お世話役や参加者の高齢化が進んでいるところに, 新型コロナウイルス感染拡大したことで参加者や体操会場が減少している。これから先も高齢者の介護予防を目的に高知市発祥のいきいき百歳体操を継続することができるよう, 地域包括支援センターに専従配置された生活支援コーディネーターを中心に伴走支援するとともに, いきいき百歳体操を幅広い年代の方に知ってもらうよう情報発信していく。</p> <p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		No.	事業名																																																												
48	さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催																																																														
<b>◆事業(概要)</b>																																																															
・いきいき百歳体操, かみかみ百歳体操, しやしき百歳体操の実施																																																															
・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施																																																															
・いきいき百歳サポーター育成教室の実施																																																															
<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>																																																															
介護予防活動への住民参画を促進することで, より活動的な生活となり, 住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。 既存のいきいき百歳体操等の集いに, 体操会場の人間関係を通じ, 男性の参加を促す。																																																															
<b>◆活動指標(目標)</b>																																																															
・いきいき百歳体操参加者数9,000人/年																																																															
・いきいき百歳サポーター新規育成数120人/年																																																															
<b>(参考)関連する数値目標</b>																																																															
健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.27年 女性21.77年																																																															
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																																										
	31,638	28,854	28,060																																																												
自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																																																												
	R4	C																																																													
	R5	C																																																													
	R6																																																														
	R7																																																														
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																																																														
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト, 費用対効果は適当か。																																																														
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																																														
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																																														

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)		
5 ア 生涯にわたる健康生活をおける心と体の健康支援	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・中央公民館は、市民のライフスタイルに応じて、各室の特徴を活かしたさまざまなジャンルの講座を実施した。男性受講者の割合が2割から3割に満たない数値で推移しているため、男性の参加意欲を促す内容の講座を開設し、男女問わず生涯学習の機会を提供できるよう工夫した。					自課評価	R3	B	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b> ・中央公民館は、初めてでも参加しやすい講座から1つの事柄を深く追究する講座まで、男女問わずに参加しやすくなるような生涯学習の機会を提供していく。そのため、受講者アンケートの意見や、今話題になっているものや、今後の展開が見込まれる話題のテーマを講座に取り入れ市民のニーズに応じていく。	
	49	生涯学習活動の促進	<b>◆事業(概要)</b> 市立公民館で年間を通じて各種講座を開設し、広く市民に生涯学習の機会を提供する。					R4	B	・地域の市立公民館では、今後も受講者アンケートの意見等を踏まえ、教養や能力の向上等市民のニーズに応える学習内容のほか、地域の課題解決につながる学習機会の提供に努める。			
<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 性別・年齢を問わず、生きがいづくりと健康増進、また受講生同士の交流の場となるような講座を実施する。			・地域の公民館では、生涯学習活動の促進を図るため、市の主催講座で学習した内容を地域主体の自主講座として引き続き学習することができるよう、受講者からの意見や要望等を聞き取るとともに、講師と地域の実情や講座内容等について情報交換を行い、新たな地域主体の自主講座(認知症予防教室)の開設に繋げることができた。(R6.5~月2回開催予定)					R5	B			<b>◆検証《達成状況, その要因》</b> ・コロナ禍と比較すると、受講者数は増加した。市民の活動範囲が広がりを取り戻してきた結果。 ・女性の参加率が高く、男性の参加が少ない。 ・中央公民館各種講座等受講者数 2,329人  ・地域の市立公民館で実施した受講後のアンケート調査で、生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合は、R5年度は97.6%と高い数値を維持している。 (参考:R4年度 96.8%) 地域の市立公民館事業参加者数 5,778人	
<b>◆活動指標(目標)</b> ・中央公民館各種講座等受講者数(3,500人) ・地域の市立公民館事業参加者数(5,000人)			決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	R6	R7			<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】
<b>(参考)関連する数値目標</b> 健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.27年 女性21.77年			担当課 文化振興課					必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。			【課題等】	
<b>写真等</b>								効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。				
								有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				
								工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)				
生涯にわたる健康生活をおける心と体の健康支援	5	ア	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、各地区体育会の事業数も増加した。 近隣地区合同スポーツイベントは4地区、地区体育会育成補助事業は2地区、その他地区対抗スポーツ大会は秋季・冬季共に開催することができた。 また、地区の運動会については、昨年は2地区のみ開催したが、今年度は22地区の開催となり、顕著に増加した。					自課評価	R3	D	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 各地区の体育会も、運動会の時間を短縮したり、防災を絡めた運動会の実施等、工夫をしながら開催することができた。 地区に対してのサポートを継続していくと共に、各種事業の取り組みに対しての試行錯誤も行っていく。	
	50	スポーツ推進事業	<b>◆事業(概要)</b> 小学校区ごとに設置の地区体育会で開催される地区運動会や近隣地区合同スポーツイベント等が実施されるよう地区体育会への活動支援を実施し、男女ともに年齢を問わずスポーツに触れる機会の提供を図る。					<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> 昨年度と比較すると、事業開催数は増加傾向にあるが、コロナ禍前の水準にはまだ届いていない。							
	<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。		決算額(千円)	R3 346	R4 1,381	R5 1,573	R6	R7	<b>◆推進委員会の点検項目</b>		<b>◆推進委員会から点検コメント</b>				
	<b>◆活動指標(目標)</b> 地区体育会での地区運動会の開催 近隣地区合同スポーツイベントの実施		担当課	スポーツ振興課					必要性		・事業がプランの数値目標に結びつくか。			【特に良かった点等】	
<b>(参考)関連する数値目標</b> 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.27年 女性21.77年		写真等						効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		【課題等】				
								有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。				工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)		
5 ア 生涯にわたる健康生活をおける心と体の健康支援	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ○4月:年度末年齢42～45歳の方のうち前年度に受診していない方と、46～63歳の方のうち過去5年間に高知市実施の検診の受診履歴のある方で前年度に受診していない方へ、乳がん検診・子宮頸がん検診個別受診券と集団案内を送付。 ○6月:乳がん検診は年度末年齢が41歳、子宮頸がん検診は年度末年齢が21歳の方へ、無料クーポン券付受診券を送付。 ○7月:女性健診受診のオンライン申込み開始。広報あかるいまち7月号で女性健診の実施と申込み方法(オンライン)についての記事を掲載。 ○8月:病院で受診する胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の受診券のオンライン申込みを開始。 ○9月:持参による大腸がん検診について高知市公式LINEで広報。 ○12月:高知市のがん検診を未受診の方がいる世帯へ受診案内はがきを送付。 ○1月:高知市成人式で配布されるチラシに子宮頸がん検診受診案内を掲載。 ○2月:次年度の集団検診申込書を送付。					自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 引き続き、オンラインでの申込みを継続するとともに、高知市公式LINEや市広報あかるいまちを活用し、オンライン申込みの周知を図る。また、市内140の大腸がん検診実施医療機関に、健康増進課作成の検診実施をお知らせするポスターを配布し、がん検診受診についての啓発を行う。	
	51	がん検診	<b>◆事業(概要)</b> 胃がん検診、大腸がん検診、胸部検診(以上、40歳以上の市民対象)、子宮頸がん(20歳以上の女性市民対象)、乳がん検診(40歳以上の女性市民対象)を実施する。実施にあたっては、利便性向上を図るとともに対象者への受診勧奨を行う。					R4	A	<b>◆検証《達成状況, その要因》</b> ・子宮頸がん検診:16.5% ・乳がん検診:19.3%  令和5年度から、病院で受診する胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の受診券申込みや、20代から30代の方が対象の女性健診(基本的な健診と子宮頸がん検診を同時実施)の受診申込みについて、オンラインでの申込みを開始した。			
<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、がんの早期発見のための検診機会を確保する。			決算額 (千円)					R5	R6	R7		<b>◆推進委員会の点検項目</b>	
<b>◆活動指標(目標)</b> ・子宮頸がん検診受診率 16%以上 ・乳がん検診受診率 18%以上			R3	R4	R5	R6	R7	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】			
<b>◆活動指標(目標)</b> ・子宮頸がん検診受診率 16%以上 ・乳がん検診受診率 18%以上			担当課 健康増進課					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	【課題等】			
<b>(参考)関連する数値目標</b> 子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上			写真等 令和5年度女性健診チラシ(オンライン申込みのためのQRコードを掲載)					有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。			【課題等】	
								工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)				Action(見直し)	
生涯にわたる健康生活における心と体の健康支援	5	ア	<p>No. 事業名</p> <p>52 成人歯周病検診</p> <p>◆事業(概要) かかりつけ歯科医を持つ割合が少ない40歳、50歳、60歳(年度末年齢)の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・受診者数 862人</p> <p>(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.27年 女性21.77年</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢を60歳を追加し、40歳、50歳、60歳の節目年齢を対象として実施。</li> <li>・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。</li> <li>・4月に対象者13,384名へ個別に案内通知。</li> <li>・申込みの利便性を図るため、対象者への個別案内ハガキへ申込用のQRコードを掲載し、WEB申込も開始。</li> <li>・ホームページ上からもWEB申込を可能とし、WEB環境のない方もいるため、従来の電話での申込みも併用。</li> <li>・各種保健事業でのPR。</li> <li>・広報あかるいまちで啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。</li> <li>・申込者がすべて受診に結びつくように、受診票を送付する際に同封するチラシはナッジ理論を活用。</li> </ul>					自課評価	R3	B	<p>評価基準</p> <p>A: 目標達成(100%以上)</p> <p>B: 概ね達成(80~100%未満)</p> <p>C: 少し下回った(60~80%未満)</p> <p>D: 大きく下回った(60%未満)</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>歯周病は全身疾患に関係することから、後期高齢者歯科健診の対象である75歳の手前の70歳を対象に追加し、成人期から高齢期までの節目年齢における歯周病検診を実施し、歯科受診のきっかけづくりとする。</p> <p>WEB申込を継続し、申込の利便性を図る。</p>
	R4	A	R5	B	R6		R7		<p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者1,335名に対して、842名の受診であった。</li> <li>・対象者への個別通知、広報あかるいまち、高知市ホームページへの掲載の他、高知市公式LINEを活用した周知を行った。</li> <li>・特に、QRコードを掲載し、WEB申込を開始したこと、申込の利便性が向上した。</li> </ul>				
	決算額(千円)	R3 2,274	R4 2,672	R5 4,211	R6	R7	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。</p> <p>効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>					
	担当課	健康増進課											
	写真等 申込QRコードを掲載した案内ハガキ	 <p>令和5年度高知市成人歯周病検診(無料)のお知らせ</p> <p>高知市成人歯周病検診は、40歳、50歳、60歳が対象です。しかも「個別案内通知」で受診することが可能です。歯周病は自覚症状のないまま進行し、歯を失う一因の原因です。また歯周病は、糖尿病や心臓病、肺炎など全身の病気と密接に関連があります。</p> <p>実施期間：令和5年4月1日～令和6年2月17日 申込み：令和5年2月8日まで &lt;受診までの流れ&gt; ①QRコードからまたは健康増進課に電話で申し込み ②健康増進課から個別案内通知を受け取る (個別案内通知を受け取ることができ、歯科医師一覧表を同封します) ③ご希望の歯科医院へ電話予約をする ④受診票を持参して歯周病検診を受ける</p> <p>全身の健康のためにも定期的な歯科受診をおすすめします。歯周病検診をきっかけにかかりつけ歯科医を持ちましょう。</p> <p>高知市健康増進課 電話：088-803-8005</p>											

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)					Check(点検)			Action(見直し)				
5 ア 生涯にわたる健康生活をおける心と体の健康支援	No.	事業名	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b> ・精神保健福祉相談は、専用の相談電話(2回線)で主に受付し、来所を希望する方及び職員が訪問が必要と判断した時には来所や訪問での相談にも対応した。 ・パソコンやスマートフォンから簡単にストレス度や落ち込み度などの心の状態がチェックでき、相談窓口が表示されるシステム「こころの体温計」を、高知市ホームページからアクセスできるようにするとともに、名刺サイズのカードにQRコードを載せ配布することで、周知した。 ・高知市公式LINEで相談窓口、こころの体温計へのアクセスを呼びかけた。					自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	<b>◆対応《改善、今後どのようにするか》</b> 引き続き高知市ホームページ、高知市公式LINEなどを活用し、アクセスしやすい相談の場となるよう、広報を行う。 また、市民のこころの健康が保たれるよう相談対応の質を向上していく。			
	53	こころの相談窓口	<b>◆事業(概要)</b> 市民の誰もがこころの健康について相談できる場として、仕事や生活に不安を感じている方などの相談に対応する。						◆検証《達成状況、その要因》	R4		A	・精神保健福祉相談(訪問・来所・電話)の延べ件数 6,290件。 ・こころの体温計へのアクセス数 48,283回。  パソコンやスマートフォン、LINE等の活用により、相談窓口を効果的に周知できていると思われる。		
	<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b> 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、相談対応を通してこころの健康を保つための支援を行う。		<b>◆検証《達成状況、その要因》</b> ・精神保健福祉相談(訪問・来所・電話)の延べ件数 6,290件。 ・こころの体温計へのアクセス数 48,283回。  パソコンやスマートフォン、LINE等の活用により、相談窓口を効果的に周知できていると思われる。							◆推進委員会の点検項目		R5		A	<b>◆推進委員会から点検コメント</b> 【特に良かった点等】          【課題等】
	<b>◆活動指標(目標)</b> 精神保健福祉相談 延べ2,800件		決算額(千円)	R3 250	R4 262	R5 266	R6					R7		必要性	
<b>◆活動指標(目標)</b> 精神保健福祉相談 延べ2,800件		担当課 健康増進課					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。							
<b>(参考)関連する数値目標</b> 健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性18.27年 女性21.77年		写真等 						有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。						
									工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																																					
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	<p>5 ア No. 事業名</p> <p>54 思春期保健事業</p> <p>◆事業(概要) ・養護教諭の定例会での啓発を行う。</p> <p>【思春期教室】 学校で性教育を実施できるように、対象者や授業の内容に合ったサポート、資料教材の提供、物品の貸出しを行う。開催：学校からの依頼</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 ・生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重し、相手を思いやり良好な人間関係を構築した上で性関係をもつために適切な行動を取ることができるよう、男女共に生命の誕生やいのちについて伝えていく。 ・男性も主体的に育児をすることの重要性や育児の喜びを、児童と両親の両世代に伝える。 ・将来男女が協力して育児を行うことができるよう、育児に関する実技も男女ともに実施する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・命を大切に作る心や、男女がそれぞれの体の特徴や違いを理解し尊重し合う心を育てるための取り組みを行う。 ・養護教諭定例会での啓発を行う。(年1回) ・学校等の依頼により、思春期教室の開催や物品等の貸し出しを行う。</p> <p>(参考)関連する数値目標 —</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>学校及び養護教諭との連携を図るために、養護教諭定例会にて毎年啓発活動を行なっている。適切な時期での性教育実施のため今後も継続して実施していく。</p> <p>サポート授業については、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたことにより、サポート授業への対面での保健師・助産師の出務が増えた。性教育関係の物品貸出についても増加しており、学校等依頼分については全て対応できた。今後も依頼に対応していくとともに、教材や事業内容の検討を行う。</p> <table border="1" data-bbox="640 877 1128 1117"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">母子保健課</td> </tr> </table> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0			担当課	母子保健課					<table border="1" data-bbox="1128 284 1655 462"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>学校で性教育を実施できるように、養護教諭定例会で思春期教室のサポートや性教育関係の物品貸出等について説明、啓発を実施。(毎年)</p> <p>思春期教室(サポート授業) 保健師4回 助産師13回</p> <p>性教育関係の物品貸出 小学校:7校, 高等学校:2校, その他:6か所 延べ23回</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1" data-bbox="1128 877 1655 1489"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>学校及び養護教諭との連携を継続する。</p> <p>若年出産・人工妊娠中絶率減少に向けた対策として、子どもたちが性や妊娠に関する正しい知識や行動を実践し、大切にされてきた生命であること、自分自身を大切に自分の健康は自ら守るという意識を育てることが必要である。養護教諭や高知県助産師会、高知県思春期保健相談センター等と連携して、小中高生向けのサポート授業への人的・物的支援等を行っていく。</p> <p>望まない妊娠や予期せぬ妊娠を防ぎ、将来の妊娠のための健康管理に関する情報提供を推進するため、若い世代を対象にプレコンセプションケアについて啓発を行う。</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																			
	0	0	0																																							
担当課	母子保健課																																									
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																																							
	R4	B																																								
	R5	B																																								
	R6																																									
	R7																																									
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																																									
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																																									
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																									
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																									

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																		
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	ア	No. 事業名 55 妊娠・出産期等の支援	<p><b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内4カ所に子育て世代包括支援センターを開設。西部と北部については土曜日開所をしており、市民の妊娠届出の利便性を図った。</li> <li>パパママ教室(年18回開催)は、西部・東部・北部子育て世代包括支援センターにて予定通り開催。沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を啓発した。</li> <li>妊産婦子育て相談はぐくみ(年24回開催)もパパママ教室と同様に予定通り開催。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にした。</li> <li>伴走型相談支援を目的に加え、こんにちは赤ちゃん訪問事業として保健師・訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>◆検証《達成状況, その要因》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠届出時の妊婦の面接率100%R3R4R5と継続達成。</li> <li>パパママ教室は、妊婦がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。参加組数189組。</li> <li>子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっている。相談者数増加。相談者数(延)458人。アンケートによる満足度100%。</li> <li>こんにちは赤ちゃん訪問事業は、出産・子育て応援給付金事業の給付条件に位置づけし、伴走型相談支援の充実を図ったため、訪問率97.9%に上昇。</li> </ul>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		<p><b>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</b></p> <p>パパママ教室・子育て相談はぐくみともに子育て世代包括支援センターで開催。広報活動に母子手帳アプリのプッシュ通知機能等も取り入れ、参加者の増加を図り、妊娠、出産、子育てにかかる相談支援や情報の提供に取り組む。子育て世代包括支援センターのうち3カ所は地域子育て支援センターに併設しており、地域において気軽に妊産婦や父親、子ども連れで訪れやすい雰囲気を形成している。教室開催により周知を図り、身近な相談機関としての役割を継続していく。</p> <p>訪問できなかった世帯に対しても、情報提供の実施をするとともに、乳児一般健康診査受診歴や予防接種歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努める。</p>						
		自課評価	R3	A		評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																	
R4	B																						
R5	B																						
R6																							
R7																							
<p><b>◆事業(概要)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の第一歩として、子育て世代包括支援センターに母子保健コーディネーターを配置し、母子健康手帳交付時の窓口面接、相談支援、医療機関との連絡調整を行うとともに必要な支援につなげる。</li> <li>妊娠期間に産後・産後・子育てに関する知識・技術を習得し、子育てがイメージできる妊婦の他にもパートナーや家族と一緒に参加できる「パパママ教室」を各子育て世代包括支援センターにおいて開催する。</li> <li>妊婦や子育て中の保護者が一人で悩まず気軽に相談できる機会として「妊産婦子育て相談はぐくみ」を開催する。</li> <li>生後4ヵ月までの乳児のいる全ての子育て家庭を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。</li> </ul> <p><b>◆男女共同参画の視点からの目的</b></p> <p>妊娠前から継続して、出産・子育て期へと切れ目ない支援につなげていくために、必要な情報提供や支援を行う。 教室開催により、出産・子育てにおいて父親や家族のサポートが重要であることの啓発を行うとともに、具体的な実技等を含めた学習の機会を提供する。</p> <p><b>◆活動指標(目標)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊婦の窓口面接率100%。</li> <li>妊娠期間に産後・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域における子育てサービスや相談先の情報提供。</li> <li>パパママ教室参加組数 170組</li> </ul> <p><b>(参考)関連する数値目標</b></p> <p>低出生体重児出生率:9.4以下</p>	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,815</td> <td>1,798</td> <td>3,437</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 母子保健課</p> <p>写真等</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		1,815	1,798	3,437			<p><b>◆推進委員会の点検項目</b></p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p><b>◆推進委員会から点検コメント</b></p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																		
	1,815	1,798	3,437																				
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																						
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適切か。																						
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																						
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																															
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	<p>5 ア No. 事業名</p> <p>56 幼児健診</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>母子保健法に基づく健康診査として、幼児の成長発達の確認及び子育ての助言を行うため、1歳6か月児健診及び3歳児健診を実施する。幼児健診受診促進事業として、一定期間の未受診児に対し、子育て支援訪問員や保健師が訪問し受診勧奨をする。訪問して会えない場合、文書による勧奨も実施。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>受診率向上及び父親の子育て参加の機会促進ため、各健診のうち一定数の日曜健診を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。 1歳6か月児健診受診率 95% 3歳児健診受診率 95%</p> <p>(参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.4以下</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>R5年度については、新型コロナの5類への移行に伴い、感染対策を緩和し、健診を実施した。ただし、本来1歳6か月児健診は2歳の誕生日まで、3歳児健診は4歳の誕生日までは受診期限であるが、受診可能期間の緩和は継続して行い、それぞれ、2歳6か月、4歳6か月までで対応した。受診控えをしていた対象者が受診したためか、1歳6か月児健診においては、受診率が100%を超えており、3歳児健診においては定員超過をし、受診を断らざるを得ないケースもあった。できるだけ受診できるように、定員を増やすため、医師を2診から3診へ調整したり、前年度に引き続き平日のみの実施ではなく、日曜健診も各3回ずつ実施し、受診率の向上を図った。</p> <p>1歳6か月健診では、R4年度より子ども育成課と連携し実施している親子絵本ふれあい事業を継続して行い、絵本の読み聞かせやふれあい遊びを通して、子どもの成長発達を促す啓発を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="629 911 1115 997"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18,338</td> <td>23,289</td> <td>21,882</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 母子保健課</p> <p>写真等</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		18,338	23,289	21,882			<table border="1" data-bbox="1135 288 1668 478"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td rowspan="5">評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>1歳6か月児健診 対象者数1970人 受診者数1994人 受診率 101.2% 受診勧奨訪問実績 102件</p> <p>3歳児健診 対象者数2435人 受診者数2288人 受診率 94.0% 受診勧奨訪問実績 175件</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1" data-bbox="1135 911 1668 1463"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	B	R6		R7		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <p>新型コロナは5類へ移行されたが、基本的な感染対策は実施し、保護者や子どもが安心して受診できるよう、配慮を行う。受診者への健診案内は概ね通常どおりとし、R6年度からは受診可能期間を1歳6か月児健診は2歳の誕生日まで、3歳児健診は4歳の誕生日までとし、健診案内を実施する。健診受診率の向上のため、日曜健診の実施は継続して行い、一定期間の未受診者者に対しては子育て支援訪問員や保健師が手紙や訪問により受診勧奨を継続して実施する。</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																													
	18,338	23,289	21,882																																	
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																																	
	R4	B																																		
	R5	B																																		
	R6																																			
	R7																																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																																			
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																																			
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																																			
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																																			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																							
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	<p>5 ア No. 事業名</p> <p>57 相談事業(No. 22再掲)</p> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性対象: 一般相談(開館日)</li> <li>専門相談(法律相談/月2回, こころの相談/月2回)</li> <li>令和3年度からこころの相談を月2回に拡充</li> <li>男性対象: 令和5年度から男性のための悩み相談 月4回に拡充</li> <li>LGBTsに関する電話相談(にじいろコール) / 月1回 令和3年度試行, 令和4年度開始, 令和5年度からフリーダイヤルに変更</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら, 男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため, さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般相談 2,000件以上</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性 18.27年 女性21.77年</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般相談 2,965件</li> <li>法律相談 月2回(1回4名まで) 94件</li> <li>こころの相談 月2回(1回2名まで) 46件</li> <li>男性相談 月4回(1回2名まで) 72件</li> <li>性的少数者対象: にじいろコール～LGBTsに関する相談～ 月1回 17件</li> <li>相談の多い内容について相談関連講座を実施した。3講座, 194名参加</li> </ul> <table border="1" data-bbox="622 938 1106 1027"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,796</td> <td>1,756</td> <td>1,741</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(情報紙への掲載事例)</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		1,796	1,756	1,741			<table border="1" data-bbox="1120 288 1646 475"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td rowspan="5">評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況, その要因》</p> <p>一般相談件数は前年の約1.5倍, 法律相談・こころの相談・男性相談の相談件数も前年度より増加した。</p>	自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)	R4	B	R5	A	R6		R7		<p>◆対応《改善, 今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な相談窓口として, 情報紙, ホームページ, SNS等で広報し, 相談につながるよう, 引き続き取り組む。</li> <li>男性相談の4回のうち1回を, ZOOMによるオンライン対応へ変更。</li> </ul>
		決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																					
	1,796	1,756	1,741																									
自課評価	R3	A	評価基準 A: 目標達成(100%以上) B: 概ね達成(80~100%未満) C: 少し下回った(60~80%未満) D: 大きく下回った(60%未満)																									
	R4	B																										
	R5	A																										
	R6																											
	R7																											



# 数值報告



## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	1	人権同和・男女共同参画課	高知市男女共同参画に関する市民意識調査(5年毎に実施) ①抽出方法 ②抽出日 ③調査期間 ④有効回収数 ⑤有効回収率	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和元年10月2日 ③令和元年10月10日～11月11日 ④1,023人(うち女性605人) ⑤34.1%	-	-	-	-
	2	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「社会通念・慣習・しきたり」などで男女の地位が平等だと思う人の割合」	15.7%(市)	-	-	-	-
	3	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「男は仕事、女は家庭などの性別による固定的な役割分担意識に同意しない割合」	70.3%(市)	-	-	-	-
	4	人権同和・男女共同参画課	①市審議会等の女性委員比率 ②女性委員0の市審議会等の比率	①30.1% (1,502人のうち女性452人) ②17.3% (138会のうち24会が女性0人)	①32.3% (1,417人のうち女性457人) ②11.0% (118会のうち13会が女性0人)	①31.1% (1,317人のうち女性432人) ②13.0% (115会のうち15会)	①30.7% (1,431人のうち女性439人) ②10.8% (120会のうち13会)	①30.8% (1,423人のうち女性438人) ②12.6% (119会のうち15会)
	5	人事課	高知市管理・監督職(係長級以上)女性比率	33.1% (612人うち女性203人)	33.3% (620人うち女性207人)	36.0% (630人うち女性227人)	37.5% (634人うち女性238人)	37.6% (633人のうち女性238人)
	6	学校教育課	市立学校(小・中・特別支援学校)における ①女性教職員人数(比率) ②女性管理職人数(比率)	①932人(67.6%) ②41人(32.5%)	①897人(66.2%) ②40人(32.3%)	①920人(66.4%) ②43人(33.3%)	①896人(64.9%) ②41人(32.0%)	①863人(63.5%) ②56人(43.1%)
	7	人権同和・男女共同参画課	【男女共同参画研修】(階層別) ①対象階層 ②参加人数	「男女共同参画の視点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主事・技師級 ②306名	「ちゃんと知りたいLGBTs」 ①係長級 ②190名	「SOGI職員研修」 ①全職員 ②530名	「男女共同参画の視点からの防災～災害対応全般の質/効果を上げるために～」 ①オンライン研修:係長級職員 オンデマンド研修:全職員 ②オンライン研修:43人 オンデマンド研修:再生回数167回	「わたしにもある?アンコンシャス・バイアスとは～ジェンダー平等の視点から～」 主任級職員:68人
	8	人事課(人材育成)	【男女共同参画研修】 対象:新任課長補佐研修 参加人数	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和2年1月22日 2年目課長補佐級職員等54人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月6日 2年目課長補佐級職員等40人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年11月5日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和4年11月8日 2年目課長補佐級職員等30人	「ダイバーシティ推進研修」 ※実施日 令和5年7月12日 2年目課長補佐級職員等36人

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	9	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVを経験したことがある人の割合」	25.2%(市)	-	-	-	-
	10	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合」	65.1%(市)	-	-	-	-
	11	人権同和・男女共同参画課	ソーレ 女性対象一般相談のうち「暴力」に関する相談件数	136件	97件	74件	74件	82件
	12	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおける児童相談のうち「児童虐待相談」件数	230件(修正)	217件	180件	191件	227件
	13	少年補導センター	街頭補導状況【市少年補導センター】 ①在学少年(小・中・高校・その他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①90人(うち女子8人) ②3人(うち女子0人)	①80人(うち女子23人) ②15人(うち女子1人)	①168人(うち女子28人) ②17人(うち女子4人)	①94人(うち女子23人) ②8人(うち女子1人)	①78人(うち女子14人) ②5人(うち女子0人)
	14	少年補導センター	相談受理状況【市少年補導センター】 ※夜間電話相談「アシト119」「ソナ-119」含む (※平成30年度で事業終了) ①在学少年(小・中・高校・その他の学校) ②非在学少年(有職・無職)	①167人(うち女子46人) ②1人(うち女子0人)	①132人(うち女子54人) ②2人(うち女子0人)	①97人(うち女子53人) ②2人(うち女子1人)	①97人(うち女子46人) ②1人(うち女子1人)	①90人(うち女子21人) ②0人
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	15	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「性別による不当な扱いとを感じる項目と割合」	賃金格差 11.6% 昇給・昇格 11.3% 自由に休暇とりにくい9.2% 育児・介護休暇とりにくい 7.1%	-	-	-	-
	16	人権同和・男女共同参画課	意識調査 「家事を全くしない男性の割合」	15.2%	-	-	-	-
	17	人事課	①男性の育児休暇 取得者数・取得率(市職員) ②配偶者出産休暇 取得者数・取得率(市職員)	①7人 9.9% ②52人 73.2%	①9人 12.5% ②57人 79.2%	①10人 17.9% ②47人 83.9%	①22人 32.4% ②61人 89.7%	①38人 48.1% ②68人 86.1%
	18	人事課	市新規採用職員(事務職)女性比率 <実施年度別>	57.4% (54人のうち女性31人)	51.2% (41人のうち21人)	78.1% (64人のうち50人)	57.1% (49人のうち28人)	49.2% (63人のうち31人)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	19	人事課(人材育成)	【市女性職員の人材育成・能力開発研修】参加人数 ①自治大学(25日間) ②市町村アカデミー(a 4日間・b 8日間) ③国際文化アカデミー(5日間) ④その他の研修	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③0人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④1人
	20	学校教育課	高等学校進学率 ①全体 ②男 ③女	①98.7% ②97.6% ③99.5%	①98.6% ②98.4% ③98.8%	①98.3% ②98.0%③98.8% 未進学(就職含む) 男 21名 女 11名	①98.5% ②98.2%③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%
	21	子育て給付課	ひとり親家庭自立支援相談件数(延件数) <医療・健康, 就労, 児童, 経済的支援等> ①母子家庭相談数 ②父子家庭相談数	①母子家庭 1,019件 ②父子家庭 30件	①母子家庭 1,084件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 825件 ②父子家庭 28件	①母子家庭 1,729件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 1,568件 ②父子家庭 67件
	22	子育て給付課	母子家庭等就業・自立支援センター事業【高知県と共同実施】 (就業相談・就業情報提供等支援サービス提供) ①相談件数 ②就業者数	①632件 ②31人(高知市のみ)	①647件 ②21人(高知市のみ)	①691件 ②3人(高知市のみ)	①1,835件 ②20人(高知市のみ)	①1,721件 ②23人(高知市のみ)
	23	産業政策課	就職につながった市主催セミナー修了者 ①若者就職応援セミナー	①12人(うち女性8人)	①3人(うち女性2名)	①5人(うち女性2人)	①4人(うち女性1人)	/
	24	母子保健課	母子訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 ②産婦 ③新生児 ④未熟児<21年度から⑧の数に再掲> ⑤乳児 ⑥幼児 ⑦その他  ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問> (実人数/対象者数=訪問率)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (90/179) ②産婦 (274/466) ③新生児 (53/62) ④未熟児 (30/51) ⑤乳児 (407/938) ⑥幼児 (846/1,175) ⑦その他 (12/29) ①~⑦合計 2,900人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,230/2,289=97.4%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (74/130) ②産婦 (224/441) ③新生児 (47/83) ④未熟児 (10/35) ⑤乳児 (350/776) ⑥幼児 (744/871) ⑦その他 (20/39) ①~⑦合計 2,375人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,101/2,205=95.3%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (56/96) ②産婦 (231/400) ③新生児 (57/71) ④未熟児 (13/28) ⑤乳児 (283/485) ⑥幼児 (504/626) ⑦その他 (11/15) ①~⑦合計 1,721人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (2,118/2,223 = 95.2%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (62/124) ②産婦 (210/364) ③新生児 (43/58) ④未熟児 (7/7) ⑤乳児 (268/463) ⑥幼児 (604/686) ⑦その他 (3/3) ①~⑦合計 1,705人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (1,934/2,037 = 94.9%)	訪問指導(実人数/延人数) ①妊婦 (52/107) ②産婦 (147/328) ③新生児 (52/75) ④未熟児 (22/23) ⑤乳児 (306/618) ⑥幼児 (519/598) ⑦その他 (2/3) ①~⑦合計 1,752人(延)  ⑧赤ちゃん(訪問率) (1,793/1,831=97.9%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	25	母子保健課	ババママ教室 (初めての妊娠の方とパートナー対象) ①実参加組数 ②延参加組数	元年度から内容・回数等変更 ・ババママ教室 妊婦 73人, 家族 73人 ・ババママひろば 妊婦 73人, 家族 69人 合計参加総数 146組, 288人	・ババママ教室 妊婦 84人, 家族 84人 ・ババママひろば 妊婦 106人, 家族 97人 合計参加総数 190組, 371人	・ババママ教室 妊婦 71人, 家族 68人 合計参加総数 71組, 139人	・ババママ教室 妊婦 134人, 家族130人 合計参加総数 134組, 264人	・ババママ教室 妊婦189人, 家族188人 合計参加総数 189組, 377人
	26	子ども育成課	ファミリーサポートセンター ①依頼会員登録者数 ②援助会員登録者数 ③両方会員登録者数 ④活動件数	①784人(男性34人, 女性750人) ②441人(男性26人, 女性415人) ③62人(男性1人, 女性61人) ④5,521件	①741人(男性34人, 女性707人) ②447人(男性29人, 女性418人) ③55人(男性0人, 女性55人) ④4,278件	①727人(男性36人, 女性691人) ②443人(男性28人, 女性415人) ③51人(男性1人, 女性50人) ④5,743件	①720人(男性42人, 女性678人) ②456人(男性29人, 女性427人) ③50人(男性1人, 女性49人) ④4,429件	①751人(男性47人, 女性704人) ②479人(男性33人, 女性446人) ③49人(男性1人, 女性48人) ④4,575件
	27	子ども育成課	病児・病後児童保育実施施設・利用人数 ①細木病院 <定員:6人> ②三愛病院 <定員:6人> ③うららが保育園<定員:3人> ④もみのき病院 (合計 利用人数)	① 492人 ② 614人 ③ 235人 ④ 451人 (計1,792人)	① 153人 ② 131人 ③ 125人 ④ 128人 (計537人)	① 281人 ② 170人 ③ 182人 ④ 196人 (計829人)	① 356人 ② 72人 ③ 224人 ④ 166人 (計818人)	① 391人 ② 352人 ③ 238人 ④ 186人 (計1,167人)
	28	子ども育成課	子育て相談件数(延件数) ③地域子育て支援センター a「あい」 b「ほけっとランド」 c「くすくすひろっぱ」 d「はるの・わくわくほけっと」	③a 361件 b 66件 c 130件 d 148件	③a 203件 b 119件 c 103件 d 164件	③a 213件 b 118件 c 192件 d 143件	③a 324件 b 137件 c 153件 d 150件	③a 375件 b 119件 c 214件 d 73件
	29	子ども育成課	放課後児童クラブ ①クラブ数 ②児童数 ③指導員数(男女比)	①92 ②3,507人 ③154人(うち女性153人)	①89 ②3,355人 ③152人(うち女性151人)	①88 ②3,202人 ③151人(うち女性150人)	①84 ②3,395人 ③150人(うち女性149人)	①83 ②3,293人 ③148人(うち女性145人)
	30	保育幼稚園課	保育所入所児童数/就学前児童数(入所率) (へき地保育所は除く)	8,657人/15,216人(56.9%)	8,513人/14,653人(58.1%)	8,238人/14,043人(58.7%)	7,888人/13,463人(58.6%)	7,567人/12,977人(58.3%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましょう	31	保育幼稚園課	市保育所待機児童数 ①4月1日時点 ②1月1日時点 児童の年齢	① 34人 0歳 5人 1・2歳 28人 3歳以上 1人 ②168人 0歳 116人 1・2歳 52人 3歳以上 0人	①26人 0歳 0人 1・2歳 24人 3歳以上 2人 ②109人 0歳 89人 1・2歳 18人 3歳以上 2人	①11人 0歳 0人 1・2歳 11人 3歳以上 0人 ②79人 0歳 70人 1・2歳 8人 3歳以上 1人	①3人 0歳 0人 1・2歳 3人 3歳以上 0人 ②102人 0歳 94人 1・2歳 8人 3歳以上 0人	①5人 0歳 0人 1・2歳 5人 3歳以上 0人 ②48人 0歳 43人 1・2歳 5人 3歳以上 0人
	32	保育幼稚園課	延長保育実施保育所数/認可保育所全数 利用人数	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,481人+②163人=1,644人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②147人=1,463人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,316人+②117人=1,433人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,156人+②108人=1,264人	①民営 40園/全61園 ②市営 13園/全26園 ①1,117人+②90人=1,207人
	33	保育幼稚園課	一時保育実施保育所数 利用人数	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=9,251人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,361人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=4,783人	①民営 4園 ②市営 2園 ①+②=3,427人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,168人
	34	保育幼稚園課	低月齢保育児受入れ実施保育所数 受入れ人数(待機人数) ①4月1日時点 ②1月1日時点	84園 ①487人(5人) ②832人(116人)	84園 ①467人(0人) ②818人(89人)	84園 ①377人(0人) ②776人(70人)	84園 ①411人(0人) ②818人(94人)	84園 ①364人(0人) ②732人(43人)
	35	保育幼稚園課	子育て相談件数(延件数) ①<保育園>	①2,926件	①2,565件	①2,285件	①2,368件	①2,634件
	36	子ども家庭支援センター	子育て相談件数(延件数) ②子ども家庭支援センター(実数/延件数)	1,057件(延件数)	1,162件(延件数)	1,148件(延件数)	1,176件(延件数)	1,197件(延件数)
4 地域で、防災で男女共同参画をすすみましょう	37	スポーツ振興課	スポーツ推進指導員数(うち女性数)	380人(うち女性136人)	363人(うち女性129人)	357人(うち女性130人)	341人(うち女性126人)	336人(うち女性118人)
	38	人権同和・男女共同参画課	地区人権啓発推進委員会の女性委員比率	36.3% (1,141人のうち女性363人)	37.8% (993人のうち女性375人)	37.7% (976人のうち女性368人)	38.8% (962人のうち女性373人)	39.5% (951人のうち女性376人)
	39	くらし・交通安全課	交通安全指導員協議会人数(うち女性数)	196人(うち女性58人)	184人(うち女性57人)	169人(うち女性55人)	175人(うち女性58人)	175名(うち女性57名)
	40	地域防災推進課	自主防災組織数(組織率)	816組織(96.0%)	824組織(96.0%)	832組織(96.8%)	833組織(96.8%)	840組織(96.8%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	41	健康増進課	がん検診受診率(検診対象者に対する受診者割合) 【市健康増進課】 ①子宮頸がん ②乳がん	①子宮頸がん 15.1% ②乳がん 18.8%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.4%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.3%	①子宮頸がん 16.1% ②乳がん 19.0%	①子宮頸がん 16.5% ②乳がん 19.3%
	42	健康増進課	女性健康診査受診者数 対象:20~39歳 内容:一般検診・歯科検診・子宮頸がん検診	219人	179人	145人	167人	209人
	43	【高知県】 (母子保健課)	中絶件数(うち10代)【高知県】	812件(70件)	756件(70件)	694件(53件)	616件(65件)	625件(52件)
	44	地域保健課	HIV検査件数 相談件数<検査時の相談は除く・夜間含> 【市地域保健課】	検査 368件 相談 47件	検査 201件 相談 22件	検査 258件 相談 12件	検査 280件 相談 40件	検査 329件 相談 40件